



## **Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ リファレンス**

Cisco DCNM for SAN リリース 5.x  
2011 年 7 月

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意**  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/))をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

*SAN データベース スキーマ リファレンス用 Cisco DCNM*  
© 2011 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Copyright © 2011, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.



## CONTENTS

はじめに	v
対象読者	v
マニュアルの構成	v
表記法	v
関連資料	vi
リリース ノート	vii
適合規格および安全に関する情報	vii
互換性に関する情報	vii
ハードウェアの設置	vii
ソフトウェアのインストールおよびアップグレード	vii
Cisco NX-OS	vii
Cisco DCNM-SAN	viii
コマンドライン インターフェイス	viii
インテリジェント ストレージ ネットワーキング サービス コンフィギュレーション ガイド	viii
トラブルシューティングおよび参考資料	viii
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	ix

---

### CHAPTER 1

<b>Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ</b>	<b>1-1</b>
概要	1-1
関連する Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ テーブル	1-1
スイッチ管理テーブル	1-2
エンクロージャ テーブル	1-2
ファブリック テーブル	1-3
ネットワーク管理テーブル	1-4
パフォーマンス マネージャ テーブル	1-4
Cisco Traffic Analyzer テーブル	1-4
ユーザ アクセス コントロール テーブル	1-5
設定バックアップ テーブル	1-5
ストレージ メディア暗号化テーブル	1-5
LAN テーブル	1-6
個別の Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ テーブル	1-6
BASE_SVC_CLUSTER	1-8
CARD (非推奨)	1-8

CARD 1-8

CONFIG\_FILE 1-9

DEVICE\_ALIAS 1-10

ENCLOSURE 1-10

END\_PORT 1-11

VHOST 1-13

VM 1-14

DATA\_STORE 1-15

ENC\_DATASTORE\_INFO 1-16

VM\_DATASTORE\_INFO 1-16

EVENTS 1-17

EVENT\_FORWARD 1-19

ETHSWITCH 1-20

ETHSWITCH\_PORT 1-21

CDP\_SEED 1-22

LAN 1-23

ETHSWITCH\_PORT\_VLAN 1-23

ETHISL\_VLAN 1-24

FABRIC 1-24

FAILED\_ATTEMPTS 1-26

FICON\_INFO 1-26

FMUSER 1-27

FMSESSION 1-27

GROUPS 1-28

GROUP\_FABRIC\_INFO 1-29

GROUP\_MEMBER\_INFO 1-29

GROUP\_USER\_INFO 1-29

DCNMUSER 1-30

HBA 1-30

HW\_CARD 1-31

HW\_COMPONENT 1-34

HW\_POWER\_SUPPLY 1-35

[ISL] 1-36

LICENSE 1-38

NTOP 1-39

NTOP\_SPAN\_INFO 1-39

NPV\_LINK 1-39

PMDATAINDEX 1-41

PMEXTRAOID 1-41

PMINDEXBOOKMARK 1-42

PM_COLLECTION	1-42
PM_OPTION	1-43
ROLE	1-44
ROLE_FABRIC_INFO	1-44
SCSI_TARGET	1-45
SEQUENCE	1-46
SME_SETTINGS	1-46
SME_CLUSTER	1-46
SME_CLUSTER_ATTRIBUTES	1-47
SME_CLUSTER_SMARTCARD	1-47
SME_TAPE_GROUP	1-48
SME_TAPE_VOLUMEGROUP	1-48
SME_KEY	1-49
SME_ACCOUNTING_LOG	1-49
SME_REPLICATION_REL	1-50
SME_REPL_PENDING_KEY	1-51
SME_REPL_ERROR_KEY	1-51
SNMP_COMMUNITY	1-52
SNMPUSER	1-52
SPAN_PORT	1-53
SPAN_SESSION	1-54
SPAN_SOURCE_PORT	1-54
STATISTICS	1-55
SWITCH	1-57
SWITCH_MGMT_ADDRESS	1-60
SWITCH_PORT	1-61
SVR_PROP	1-62
VCENTER	1-62
USERFABRIC	1-63
USERSWITCH_INFO	1-63
VSAN	1-64
VSAN_DOMAIN_INFO	1-65
VSAN_ENDPORT_INFO	1-66
VSAN_ISL_INFO	1-66
XMLDOCS	1-67
VSAN_NPVL_INFO	1-67
ZONE	1-67
ZONE_MEMBER	1-68

APPENDIX A

サンプル Java プログラム A-1

概要 A-1



## はじめに

ここでは、『Cisco DCNM for SAN サーバデータベース スキーマ リファレンス』の対象読者、構成、および表記法について説明します。また、関連マニュアルの入手方法についても説明します。

## 対象読者

このリファレンスは、Java および Java Database Connectivity (JDBC) の経験豊富なプログラマを対象にしています。

## マニュアルの構成

このマニュアルは、次の章で構成されています。

章	タイトル	説明
第 1 章	「Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ」	Cisco DCNM for SAN データベース スキーマの SQL インデックスとテーブルについて説明します。
付録 A	「サンプル Java プログラム」	Cisco DCNM for SAN データベース スキーマを使用する Java サンプル プログラム用のファイルを提供します。

## 表記法

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

表記法	意味
太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x   y   z }	必須の代替キーワードは、波カッコ内にグループ化され、垂直バーで区切られます。

[ x   y   z ]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 <b>string</b> の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて <b>string</b> とみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

表記法	意味
screen フォント	スイッチが表示する端末セッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[ ]	システムプロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。これらの情報はベストプラクティスとして提案され、Cisco MDS 9000 ファミリー プラットフォームに関する詳細な知識と SAN 実装の経験に基づいています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## 関連資料

Cisco MDS 9000 ファミリーのマニュアルセットには次のマニュアルが含まれます。オンラインでドキュメントを検索するには、次の Web サイトにある Cisco MDS NX-OS Documentation Locator を使用してください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/storage/san\\_switches/mds9000/roadmaps/doclocator.htm](http://www.cisco.com/en/US/docs/storage/san_switches/mds9000/roadmaps/doclocator.htm)



## リリース ノート

- 『Cisco MDS 9000 Family Release Notes for Cisco MDS NX-OS Releases』
- 『Cisco MDS 9000 Family Release Notes for MDS SAN-OS Releases』
- 『Cisco MDS 9000 Family Release Notes for Cisco MDS 9000 EPLD Images』
- 『Cisco DCNM Release Notes』

## 適合規格および安全に関する情報

- 『Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco MDS 9000 Family』

## 互換性に関する情報

- 『Cisco Data Center Interoperability Support Matrix』
- 『Cisco MDS 9000 NX-OS Hardware and Software Compatibility Information and Feature Lists』
- 『Cisco MDS 9000 Family Switch-to-Switch Interoperability Configuration Guide』

## ハードウェアの設置

- 『Cisco MDS 9500 Series Hardware Installation Guide』
- 『Cisco MDS 9200 Series Hardware Installation Guide』
- 『Cisco MDS 9100 Series Hardware Installation Guide』
- 『Cisco MDS 9124 and Cisco MDS 9134 Multilayer Fabric Switch Quick Start Guide』

## ソフトウェアのインストールおよびアップグレード

- 『Cisco MDS 9000 NX-OS Software Upgrade and Downgrade Guide』

## Cisco NX-OS

- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Licensing Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Fundamentals Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS System Management Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Interfaces Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Fabric Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Quality of Service Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Security Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS IP Services Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Intelligent Storage Services Configuration Guide』

- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS High Availability and Redundancy Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Inter-VSAN Routing Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family Cookbook for Cisco MDS SAN-OS』

## Cisco DCNM-SAN

- 『Cisco DCNM Fundamentals Guide, Release 5.x』
- 『System Management Configuration Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』
- 『Interfaces Configuration Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』
- 『Fabric Configuration Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』
- 『Quality of Service Configuration Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』
- 『Security Configuration Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』
- 『IP Services Configuration Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』
- 『Intelligent Storage Services Configuration Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』
- 『High Availability and Redundancy Configuration Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』
- 『Inter-VSAN Routing Configuration Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』
- 『SMI-S and Web Services Programming Guide, Cisco DCNM for SAN, Release 5.x』

## コマンドライン インターフェイス

- 『Cisco MDS 9000 Family Command Reference』

## インテリジェント ストレージ ネットワーキング サービス コンフィギュレーション ガイド

- 『Cisco MDS 9000 Family I/O Acceleration Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family SANTap Deployment Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family Data Mobility Manager Configuration Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family Storage Media Encryption Configuration Guide』

## トラブルシューティングおよび参考資料

- 『Cisco MDS 9000 Family and Nexus 7000 Series System Messages Reference』
- 『Cisco MDS 9000 Family SAN-OS Troubleshooting Guide』
- 『Cisco MDS 9000 Family NX-OS MIB Quick Reference』
- 『Cisco DCNM for SAN Database Schema Reference』

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

- 『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。





# CHAPTER 1

## Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ

### 概要

Cisco DCNM for SAN データベースは、Cisco MDS 9000 ファミリー アプリケーションが使用するデータ用のリポジトリであり、DCNM-SAN、パフォーマンス マネージャ、デバイス マネージャを含んでいます。パフォーマンス マネージャは、このデータを使用してレポートを生成します。

また、Cisco DCNM for SAN データベースは、他社製のレポート生成ツールでカスタム レポートの作成に使用できます。本書で説明する構造化照会言語 (SQL) データベース スキーマ定義を使用すると、データベースにアクセスできます。SQL スキーマ定義ファイル `dbname.script` は、Cisco DCNM for SAN がインストールされた `MDS 9000\bin` ディレクトリにあります。



#### 注意

Cisco DCNM for SAN データベースに接続すると、データベース内の値を編集できるようになります。ただし一部の値は、編集するとデータベースが壊れる場合があります。そのため、データベースから値を読み取るだけにすることを推奨します。

スキーマ テーブルについては、次の 2 つの項で説明します。

- [関連する Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ テーブル](#)
- [個別の Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ テーブル](#)

### 関連する Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ テーブル

Cisco DCNM for SAN スキーマ内のテーブルについては、関連機能別に以下の項に分けて説明します。

- 「スイッチ管理テーブル」
- 「エンクロージャ テーブル」
- 「ファブリック テーブル」
- 「ネットワーク管理テーブル」
- 「パフォーマンス マネージャ テーブル」
- 「Cisco Traffic Analyzer テーブル」
- ユーザ アクセス コントロール テーブル

- 設定バックアップ テーブル
- ストレージ メディア暗号化テーブル
- LAN テーブル

## スイッチ管理テーブル

表 1-1 で、スイッチ管理に関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-1 スイッチ管理テーブル

テーブル名	説明
SWITCH	スイッチに sWWN とファブリック ID を提供します。FABRIC_ID を使用して各スイッチを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。
SWITCH_MGMT_ADDRESS	スイッチ管理ポート IP アドレスを提供します。SWITCH_ID を使用して各エントリをスイッチ テーブルのスイッチに関連付けます。
SWITCH_PORT	SNMP ifIndex と pWWN をポートに関連付けます。SWITCH_ID を使用して各エントリを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。
LICENSE	スイッチで設定され、使用されているライセンスについて説明します。SWITCH_ID を使用して各エントリを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。
HW_COMPONENT	スイッチのモデル番号、製造者、および改訂について説明します。SWITCH_ID を使用して各ハードウェア コンポーネントを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。
HW_CARD	ハードウェア コンポーネントの電源とステータスを表示します。 HW_COMPONENT_ID を使用して、各列を HW_COMPONENT テーブルのハードウェア コンポーネントに関連付けます。
HW_POWER_SUPPLY	エンクロージャの電源供給のステータスを表示します。HW_COMPONENT_ID を使用して、エントリを HW_COMPONENT テーブルのハードウェア コンポーネントに関連付けます。
FAILED_ATTEMPTS	スイッチへの FICON 接続について説明します。PORT_ID を使用してこの FICON 接続を SWITCH_PORT テーブルのポートに関連付けます。
ISL	2 つのポートにリンクしている ISL について説明します。PORT1_ID と PORT2_ID を使用してこれらのポートを SWITCH_PORT テーブルのポートに関連付けます。この ISL が PortChannel メンバーの場合は、CHANNEL_ID は親チャンネル ID を参照します。
SCSI_TARGET	SCSI ターゲットに WWN を提供します。ID を使用してこの SCSI ターゲットを SWITCH_PORT テーブルのポートに関連付けます。

## エンクロージャ テーブル

表 1-2 で、エンクロージャに関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-2 エンクロージャ テーブル

テーブル名	説明
ENCLOSURE	物理的または仮想的に存在するエンクロージャについて説明します。
HBA	WWN をホスト バス アダプタに関連付けます。ENCLOSURE_ID を使用して各 HBA を ENCLOSURE テーブルのエンクロージャに関連付けます。

表 1-2 エンクロージャ テーブル (続き)

テーブル名	説明
END_PORT	ファブリック内のエンド ポートについて説明します。FABRIC_ID を使用してこのエンド ポートを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。ENCLOSURE_ID を使用してこのエンド ポートを ENCLOSURE テーブルのエンクロージャに関連付けます。HBA_ID を使用して、このエンド ポートを HBA テーブルの HBA に関連付けます。PORT_ID を使用して、このエンド ポートを SWITCH_PORT テーブルのポートに関連付けます。
VHOST	仮想ホスト (ESX ホスト) について説明します。
VM	仮想マシンについて説明します。
DATA_STORE	vCenter に定義されたデータ ストアについて説明します。
ENC_DATASTORE_INFO	エンクロージャとデータ ストアの間の関係テーブルです。
VM_DATASTORE_INFO	仮想マシンとデータ ストアの間の関係テーブルです。

## ファブリック テーブル

表 1-3 で、ファブリックに関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-3 ファブリック テーブル

テーブル名	説明
FABRIC	SAN ファブリックについて説明します。
VSAN	ファブリック内の VSAN について説明します。FABRIC_ID を使用してこの VSAN を FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。
VSAN_DOMAIN_INFO	VSAN をスイッチ上のドメインに関連付けます。SWITCH_ID を使用して VSAN とドメインを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。
VSAN_ENDPORT_INFO	VSAN のエンド ポートに FCID を提供します。VSAN_ID を使用してこのエンド ポートを VSAN テーブルの VSAN に関連付けます。
VSAN_ISL_INFO	VSAN の ISL にステータスを提供します。VSAN_ID を使用してこの ISL を VSAN テーブルの VSAN に関連付けます。
ZONE	ゾーンについて説明します。IVR を使用してこのゾーンが IVR ゾーンであるかどうかを決定します。IVR ゾーンの場合は、PARENT_ID を使用してこのゾーンを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。IVR ゾーンではない場合は、PARENT_ID を使用してこのゾーンを VSAN テーブルの VSAN に関連付けます。
ZONE_MEMBER	ゾーンのメンバーについて説明します。ZONE_ID を使用してこのメンバーを ZONE テーブルのゾーンに関連付けます。
NPV_LINK	N ポート パーチャライゼーションのリンクについて説明します。
VSAN_NPVL_INFO	VSAN 内の NPVL 情報を格納します。
CARD	カードについて説明します。
DEVICE_ALIAS	ログインしているエンド デバイスごとにデバイス エイリアスについて説明します。
BASE_SVC_CLUSTER	SME クラスタについて説明します。
FMSESSION	アクティブな Cisco DCNM for SAN ユーザ セッションについて説明します。

## ネットワーク管理テーブル

表 1-4 で、ネットワーク管理に関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-4 ネットワーク管理テーブル

テーブル名	説明
FMUSER	SAN ユーザの DCNM について説明します。
GROUPS	ファブリック内の SAN グループの DCNM について説明します。FABRIC_ID を使用してこのグループを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。
GROUP_FABRIC_INFO	ユーザ定義の論理グループとファブリック間のマッピングについて説明します。
GROUP_MEMBER_INFO	グループのメンバーについて説明します。GROUP_ID を使用してこのメンバーをグループに関連付けます。MEMBER_ID を使用して SWITCH または END_PORT テーブルの ID を参照します。
SEQUENCE	自動的に生成される ID の現在の長さの値について説明します。
SNMPUSER	SNMP ユーザについて説明します。
SNMP_COMMUNITY	SNMP コミュニティについて説明します。
SVR_PROP	ファブリックのユーザについて説明します。
VCENTER	vCenter アクセス情報について説明します。

## パフォーマンス マネージャ テーブル

表 1-5 で、パフォーマンス マネージャに関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-5 パフォーマンス マネージャ テーブル

テーブル名	説明
EVENTS	パフォーマンス マネジャー イベントについて説明します。FABRICID を使用してこのイベントを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。SWITCHID を使用してイベントを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。
EVENT_FORWARD	イベント転送設定について説明します。
PMDATAINDEX	RRD ファイルの論理的物理的マッピングをメンテナンスします
PMEXTRAOID	パフォーマンス マネジャー データ収集のオブジェクト ID と スイッチ IP を定義します。
PMINDEXBOOKMARK	RRD ファイルの現在のブックマーク インデックスをメンテナンスします。
PM_COLLECTION	パフォーマンス マネジャー収集について説明します。FABRIC_ID を使用してこの収集を FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。
PM_OPTION	パフォーマンス マネジャー収集のしきい値の詳細について説明します。ID を使用してこれらの詳細を PM_COLLECTION テーブルのパフォーマンス マネジャー収集に関連付けます。
STATISTICS	パフォーマンス マネジャー収集に収集された統計を提供します。



## Cisco Traffic Analyzer テーブル

表 1-6 で、Cisco Traffic Analyzer に関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-6 Cisco Traffic Analyzer テーブル

テーブル名	説明
NTOP	設定された NTOP エンティティについて説明します。
NTOP_SPAN_INFO	NTOP エンティティを SPAN ポートに関連付けます。SPAN_PORT_ID を使用してエンティティを SPAN_PORT テーブルの SPAN ポートに関連付けます。
SPAN_PORT	スイッチの SPAN ポートについて説明します。SWITCH_ID を使用してこの SPAN ポートを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます
SPAN_SESSION	SPAN セッションについて説明します。SPAN_PORT_ID を使用してこのセッションを SPAN_PORT テーブルの SPAN ポートに関連付けます。
SPAN_SOURCE_PORT	SPAN ソース ポートについて説明します。SESSION_ID を使用してこのソース ポートを SPAN_SESSION テーブルの SPAN セッションに関連付けます。

## ユーザ アクセス コントロール テーブル

表 1-7 で、Cisco User Access に関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-7 Cisco User Access テーブル

テーブル名	説明
FAILED_ATTEMPTS	ユーザが失敗した試行の回数について説明します。
ROLE	各ユーザが使用できるロールの種類について説明します。
ROLE_FABRIC_INFO	各ユーザおよびファブリックが使用できるロールの種類について説明します。
USERSWITCH_INFO	使用可能なスイッチ ユーザ情報について説明します。
GROUP_USER_INFO	ユーザ グループ情報について説明します。
DCNMUSER	DCNM-SAN ユーザについて説明します。

## 設定バックアップ テーブル

表 1-8 で、設定バックアップに関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-8 設定バックアップ テーブル

テーブル名	説明
XMLDOCS	設定情報が格納されている XML ファイルについて説明します。
CONFIG_FILE	情報が格納されている設定ファイルを提供します。

## ストレージ メディア暗号化テーブル

表 1-9 で、ストレージ メディア暗号化に関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-9 ストレージ メディア暗号化テーブル

テーブル名	説明
SME_SETTINGS	SME 設定について説明します。
SME_CLUSTER	SME クラスタについて説明します。
SME_CLUSTER_ATTRIBUTES	SME クラスタの属性について説明します。
SME_CLUSTER_SMARTCARD	SME クラスタ スマート カードについて説明します。
SME_TAPE_GROUP	SME テープ グループについて説明します。
SME_TAPE_VOLUMEGROUP	SME テープ ボリューム グループについて説明します。
SME_KEY	SME キーについて説明します。
SME_ACCOUNTING_LOG	SME アカウンティング ログについて説明します。
SME_REPLICATION_REL	SME 複製リリースについて説明します。
SME_REPL_PENDING_KEY	SME の複製保留キーについて説明します。
SME_REPL_ERROR_KEY	SME の複製エラー キーについて説明します。

## LAN テーブル

表 1-9 で、LAN に関連するスキーマ テーブルについて説明します。

表 1-10 LAN テーブル

テーブル名	説明
ETHSWITCH	LAN のイーサネット スイッチについて説明します。
ETHSWITCH_PORT	LAN のイーサネット スイッチ ポートについて説明します。
CDP_SEED	CDP の速度について説明します。
LAN	LAN について説明します。
ETHSWITCH_PORT_VLAN	イーサネット スイッチ ポート VLAN について説明します。
ETHISL_VLAN	イーサネット ISL VLAN について説明します。

## 個別の Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ テーブル

個別のスキーマ テーブルには、列名、JDBC SQL データ型、および説明が含まれています。各テーブルに続く脚注に、該当するテーブルの列に対して定義されたインデックスを示します。この項では、次のテーブルについて説明します。

- [CARD](#) (非推奨)
- [ENCLOSURE](#)
- [END\\_PORT](#)

- EVENTS
- EVENT\_FORWARD
- FABRIC
- FAILED\_ATTEMPTS
- FMUSER
- GROUPS
- GROUP\_FABRIC\_INFO
- GROUP\_MEMBER\_INFO
- HBA
- HW\_CARD
- HW\_COMPONENT
- HW\_POWER\_SUPPLY
- ISL
- LICENSE
- NTOP
- NTOP\_SPAN\_INFO
- PMDATAINDEX
- PMEXTRAOID
- PMINDEXBOOKMARK
- PM\_COLLECTION
- PM\_OPTION
- SCSI\_TARGET
- SEQUENCE
- SNMP\_COMMUNITY
- SNMPUSER
- SPAN\_PORT
- SPAN\_SESSION
- SPAN\_SOURCE\_PORT
- STATISTICS
- SWITCH
- SWITCH\_MGMT\_ADDRESS
- SWITCH\_PORT
- SVR\_PROP
- USERFABRIC
- VSAN
- VSAN\_DOMAIN\_INFO
- VSAN\_ENDPORT\_INFO
- VSAN\_ISL\_INFO

- ZONE
- ZONE\_MEMBER

## BASE\_SVC\_CLUSTER

表 1-11 で、CLUSTER データベース スキーマ テーブル内のクラスタ設定について説明します。

表 1-11 BASE\_SVC\_CLUSTER

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID について説明します。
FABRIC_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	親ファブリックの ID について説明します。
CLUSTER_ID	VARCHAR2(255)	—	クラスタの ID について説明します。
NAME	VARCHAR2(255)	—	クラスタ名について説明します。
CLUSTER_TYPE	INTEGER	—	クラスタの種類について説明します。
STATE	INTEGER	—	クラスタの状態について説明します。
IS_MASTER	NUMBER(1)	—	これがマスター IP かどうかについて説明します。
MASTER_ADDR_TYPE	INTEGER	—	マスター スイッチのアドレス タイプについて説明します。
MASTER_ADDR	VARCHAR2(255)	—	マスター スイッチのアドレスについて説明します。
MASTER_IP	VARCHAR2(255)	—	マスター スイッチの IP アドレスについて説明します。
SWITCH_ID <sup>2</sup>	INTEGER	—	スイッチの ID について説明します。
IS_PRESENT	NUMBER(1)	—	任意の VSAN にエンドポートが存在するかを示します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を示します。

1. BASE SVC CLUSTER FABRIC ID は FABRIC ID 列に基づくインデックスです。

2. BASE\_SVC\_CLUSTER\_SWITCH\_ID は SWITCH\_ID 列に基づくインデックスです。

## CARD (非推奨)



(注) 現在、CARD Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ テーブルは使用されていません。

## CARD

表 1-12 で、CARD データベース スキーマ テーブル内のカード設定について説明します。

表 1-12 CARD

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブルのエントリの ID について説明します。
CARD_SLOT <sup>1</sup>	INTEGER	—	カード スロット番号について説明します。
SWITCH_ID <sup>2</sup>	INTEGER	—	イベントを生成したスイッチの ID を提供します。
NAME	VARCHAR2(256)	—	エンクロージャ名について説明します。
TYPE	INTEGER	—	イベントの種類について説明します。
HW_VERSION	VARCHAR2(256)	—	ハードウェアのバージョンを提供します
SW_VERSION	VARCHAR2(256)	—	ファームウェア バージョンを提供します。
SERIAL_NUMBER	VARCHAR2(256)	—	製造時にピア ノードに割り当てられた連番を提供します。
ASSET_ID	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントの資産 ID を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間（ミリ秒）を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
STATUS	INTEGER	—	カードのステータスについて説明します。
MODEL_NAME	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのモデル名について説明します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

- CARD SWITCH ID INDEX は SWITCH ID 列に基づくインデックスです。
- CARD\_SLOT\_INDEX は CARD\_SLOT 列に基づくインデックスです。

## CONFIG\_FILE

表 1-13 で、CONFIG\_FILE データベース スキーマ テーブル内の設定ファイル情報について説明します。

表 1-13 CONFIG\_FILE

列名	データ型	制約	説明
DOCUMENT_NAME	VARCHAR2(256)	unique	設定ファイル ドキュメント名について説明します。
USER_NAME	VARCHAR2(256)	unique	セキュリティ用に暗号化されたユーザ名を提供します。
CONTENT	CLOB	—	設定ファイルの内容について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

## DEVICE\_ALIAS

表 1-14 で、DEVICE\_ALIAS データベース スキーマ テーブル内のデバイスエイリアス情報について説明します。

表 1-14 DEVICE\_ALIAS

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID について説明します。
FABRIC_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	親ファブリックの ID について説明します。
CFS_REGION_ID <sup>2</sup>	INTEGER	—	CFS 領域の ID について説明します。
WWN <sup>3</sup>	RAW(8)	—	エンドポートの WWN について説明します。
ALIAS	VARCHAR2(256)	—	デバイスエイリアスについて説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. DEVALIAS FABRIC ID は FABRIC ID 列に基づくインデックスです。
2. DEVALIAS CFS REGION ID は CFS REGION ID 列に基づくインデックスです。
3. DEVALIAS\_WWN\_INDEX は WWN 列に基づくインデックスです。

## ENCLOSURE

表 1-15 で、ENCLOSURE データベース スキーマ テーブル内の物理的または仮想的に存在するエンクロージャについて説明します。

表 1-15 ENCLOSURE

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	エントリの ID について説明します。
NAME	VARCHAR2 (256)	—	エンクロージャ名について説明します。
IS_VIRTUAL	NUMBER1	—	エンクロージャが仮想であるかどうかについて説明します。
ENC_TYPE	INTEGER	—	エンクロージャの種類について説明します。
OS_INFO	VARCHAR2 (256)	—	エンクロージャのオペレーティング システムを提供します。
IP_ADDRESS	VARCHAR2 (256)	—	エンクロージャの IP アドレスを提供します。
DM_PATH	VARCHAR2 (256)	—	エンクロージャの Device Manager パスについて説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間（ミリ秒）を提供します。
SAN_ID	INTEGER	—	非推奨。
VENDOR	VARCHAR2 (256)	—	非推奨。
MODEL	VARCHAR2 (256)	—	非推奨。
VERSION	VARCHAR2 (256)	—	エンクロージャのバージョンを提供します。
VHOST_ID	INTEGER	—	ESX ホスト エンクロージャの VHost ID について説明します。
IS_VM_HOST	NUMBER(1)	—	これがブール値からの仮想ホストであるかどうかを示します。
SERVICE_PROFILE	VARCHAR2 (256)	—	これがサービス プロファイル名からの UCS サーバブレード エンクロージャであるかどうかを示します。
SERVRE_BLADE	VARCHAR2 (256)	—	これがサーバブレード名からの UCS サーバブレード エンクロージャであるかどうかを示します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2 (256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2 (256)	—	非推奨。

## END\_PORT

このテーブルはファブリック内のエンドポートについて説明します。FABRIC\_ID を使用してこのエンドポートを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。ENCLOSURE\_ID を使用してこのエンドポートを ENCLOSURE テーブルのエンクロージャに関連付けます。HBA\_ID を使用して、このエンドポートを HBA テーブルの HBA に関連付けます。PORT\_ID を使用して、このエンドポートを SWITCH\_PORT テーブルのポートに関連付けます。表 1-16 で、END\_PORT データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-16 END\_PORT

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	エンティティのプライマリ キーについて説明します。
FABRIC_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	親ファブリックの ID について説明します。
ENCLOSURE_ID <sup>2</sup>	INTEGER	—	エンドポートが属するエンクロージャの ID について説明します。
HBA_ID	INTEGER	—	エンドポートが属する HBA の ID について説明します。
SWITCH_PORT_ID <sup>3</sup>	INTEGER	—	エンドポートにリンクしているスイッチポートの ID について説明します。
WWN <sup>4</sup>	RAW(8)	—	エンドポートの WWN を提供します。
NODE_WWN <sup>5</sup>	RAW(100)	—	ノードの WWN を提供します。
FICON_PORT_ADDRESS	RAW(100)	—	エンドポートの FICON アドレスについて説明します。
FLAGS	INTEGER	—	非推奨。
SYM_PORT_NAME	VARCHAR2(256)	—	エンドポートのシンボリック名について説明します。
SYM_NODE_NAME	VARCHAR2(256)	—	親ノードのシンボリック名について説明します。
PORT_IP_ADDR	VARCHAR2(256)	—	親ノードの IP アドレスを提供します。
ALIAS	VARCHAR2(256)	—	ポートエイリアスについて説明します。
IS_PRESENT	NUMBER(1)	—	任意の VSAN にエンドポートが存在するかどうかについて説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻について説明します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) について説明します。
OPER_STATUS_CAUSE	INTEGER	—	リンクが停止しているかどうかについて説明し、値はステータスを表します。FcIfOperStatusReason の値については、CISCO-FC-FE-MIB を参照してください。
IF_NAME	VARCHAR2(256)	—	接続しているスイッチポートのインターフェイス名について説明します。
IS_LOOP	NUMBER(1)	—	リンクが調停ループであるかどうかについて説明します。



表 1-16 END\_PORT (続き)

列名	データ型	制約	説明
FC4_TYPES	RAW(100)	—	エンド ポートの FC4 タイプについて説明します。 fcNameServerFC4Type の値については、 CISCO-NS-MIB を参照してください。
FC4_FEATURES	INTEGER	—	エンド ポートの FC4 機能について説明します。 fcNameServerFC4Features の値については、 CISCO-NS-MIB を参照してください。
NAME	VARCHAR2(256)	—	エンド ポートの論理名について説明します。
VFC_BINDTO	VARCHAR2(256)	—	エンド ポートの VFC (仮想 FC) バインド情報について説明します。
SERVICE_PROFILE	VARCHAR2(256)	—	これがサービス プロファイル名からの UCS サーバ エンドポイントであるかどうかを示します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. END PORT FABRIC ID INDEX は FABRIC ID 列に基づくインデックスです。
2. END PORT ENCLOSURE ID INDEX は ENCLOSURE ID 列に基づくインデックスです。
3. END PORT SWITCH PORT ID INDEX は SWITCH PORT ID 列に基づくインデックスです。
4. END PORT WWN INDEX は WWN 列に基づくインデックスです。
5. END\_PORT\_NODE\_WWN\_INDEX は NODE\_WWN 列に基づくインデックスです。

## VHOST

このテーブルでは仮想ホストについて説明します。表 1-17 で、VHOST データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-17 VHOST エンクロージャ テーブル

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	ホストの ID を提供します。
VCENTER_ID	INTEGER	—	vhost が検出された vCenter の ID を提供します。
CLUSTER_ID	INTEGER	—	クラスタの ID を提供します。
NAME	VARCHAR2(256)	—	ホスト名を提供します。
FULL_NAME	VARCHAR2(256)	—	ドメイン名を含む完全修飾名を提供します。
MOREF	VARCHAR2(256)	—	MOF リファレンスを提供します。
MAC_ADDRESS	VARCHAR2(256)	—	vHost (ESX サーバ) の MAC アドレスを提供します。
IP_ADDRESS	VARCHAR2(256)	—	ホストの IP アドレスについて説明します。

表 1-17 VHOST エンクロージャ テーブル (続き)

列名	データ型	制約	説明
OS_INFO	VARCHAR2(256)	—	ホストのオペレーティング システムを提供します。
VENDOR	VARCHAR2(256)	—	ベンダー名を提供します。
MODEL	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのモデルについて説明します。
VERSION	VARCHAR2(256)	—	スイッチのバージョンを提供します。
MEMORY_SIZE	NUMBER(20)	—	メモリのサイズを提供します。
CPUCOUNT	INTEGER	—	CPU 数を提供します。
CPU_SPEED_AVG	NUMBER(20)	—	平均 CPU 速度を提供します。
HBAS	VARCHAR2(256)	—	HBA 情報を提供します。
MULTIPATH	VARCHAR2(256)	—	マルチパス情報を提供します。
ALIASES	VARCHAR2(256)	—	デバイスに関連付けられたエイリアスを提供します。
CONN_STATE	INTEGER	—	接続状態を提供します。
POWER_STATE	INTEGER	—	電源状態を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## VM

このテーブルでは仮想マシンについて説明します。表 1-18 で、VM データベーススキーマ テーブルについて説明します。

表 1-18 VM エンクロージャ テーブル

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	ホストの ID を提供します。
VCENTER_ID	INTEGER	—	VM が検出された vCenter の ID を提供します。
CLUSTER_ID	INTEGER	—	クラスタの ID を提供します。
NAME	VARCHAR2(256)	—	仮想マシン名を提供します。
MOREF	VARCHAR2(256)	—	MO リファレンス ストリングを提供します。
MEMORY_SIZE	NUMBER(20)	—	VM のメモリ割り当てを提供します。

表 1-18 VM エンクロージャ テーブル (続き)

列名	データ型	制約	説明
CPUCOUNT	INTEGER	—	VM に割り当てられた CPU を提供します。
OS_TYPE	VARCHAR2(256)	—	ホストのオペレーティング システムの種類を提供します。
DNS_NAME	VARCHAR2(256)	—	VM の DNS 名を提供します。
IP_ADDRESS	RAW(100)	—	ホストの IP アドレスについて説明します。
POWER_STATE	INTEGER	—	電源状態について説明します。
DISK_READ_AVG	NUMBER	—	平均ディスク読み取り (1 秒あたりのバイト数) を提供します。
DISK_WRITE_AVG	NUMBER	—	平均ディスク読み取り (1 秒あたりのバイト数) を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## DATA\_STORE

このテーブルでは vCenter に定義されたデータ ストアについて説明します。表 1-19 で、DATA\_STORE データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-19 DATA STORE エンクロージャ テーブル

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	ホストの ID を提供します。
VCENTER_ID	INTEGER	—	データ ストアが検出された vCenter の ID を提供します。
FABRIC_ID	INTEGER	—	ファブリックの ID を提供します。
NODE_WWN	RAW(100)	—	ストレージ ノードの WWN を提供します。
PORT_WWN	RAW(100)	—	ストレージ ポートの WWN を提供します。
LUN-UUID	VARCHAR2(256)	—	データ ストアの LUN UUID を提供します。
LUN	INTEGER	—	データ ストアの LUN を提供します。
SCSI_LUN	VARCHAR2(256)	—	データ ストアの SCSI LUN を提供します。

表 1-19 DATA STORE エンクロージャ テーブル (続き)

列名	データ型	制約	説明
UUID	VARCHAR2(256)	—	データストアの UUID を提供します。
CANONICAL_NAME	VARCHAR2(256)	—	データストアの標準名を提供します。
URL	VARCHAR2(256)	—	URL を提供します。
NAME	VARCHAR2(256)	—	名前を提供します。
FREE_SPACE	NUMBER(20)	—	空きストレージスペースを提供します。
MAX_FILESIZE	NUMBER(20)	—	最大ファイルサイズを提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## ENC\_DATASTORE\_INFO

このテーブルではエンクロージャとデータストアの関係テーブルについて説明します。表 1-20 で、ENC\_DATASTORE\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-20 ENC\_DATASTORE\_INFO エンクロージャ テーブル

列名	データ型	制約	説明
ENCLOSURE_ID	INTEGER	NOT NULL	ターゲットを搭載しているエンクロージャの ID を提供します。
DATASTORE_ID	INTEGER	NOT NULL	データストアの ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## VM\_DATASTORE\_INFO

このテーブルでは仮想マシンとデータストアの関係テーブルについて説明します。表 1-21 で、VM\_DATASTORE\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-21 VM\_DATASTORE\_INFO エンクロージャ テーブル

列名	データ型	制約	説明
VM_ID	INTEGER	NOT NULL	仮想マシンの ID を提供します。
DATASTORE_ID	INTEGER	NOT NULL	データ ストアの ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## EVENTS

このテーブルではパフォーマンス マネジャー イベントについて説明します。FABRICID を使用してこのイベントを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。SWITCHID を使用してイベントを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。表 1-22 で、EVENTS データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-22 EVENTS

列名	データ型	制約	説明
EVENTID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	イベントの ID について説明します。
HOST_TIME	TIMESTAMP	—	イベントのホスト時刻について説明します。
SWITCH_TIME	TIMESTAMP	—	イベントのスイッチ時刻について説明します。
TYPE	INTEGER	—	イベントのタイプです。表 1-23 を参照してください。
FACILITY	VARCHAR2(20)	—	syslog のファシリティについて説明します。
SEVERITY <sup>1</sup>	INTEGER	—	イベントの重大度について説明します。 0 = 緊急 1 = アラート 2 = クリティカル 3 = エラー 4 = 警告 5 = 注意 6 = 情報 7 = デバッグ
SOURCE	VARCHAR2(256)	DEFAULT	イベントを生成したソース ファブリックについて説明します。
DESCR	VARCHAR2(4000)	DEFAULT	イベントの説明について説明します。
SYSLOGEVENT	VARCHAR2(80)	—	システム ログのイベントについて説明します。
VSANID	INTEGER	DEFAULT	イベントを生成した VSAN の ID について説明します。

表 1-22 EVENTS (続き) (続き)

列名	データ型	制約	説明
FABRICID	INTEGER	—	イベントを生成したファブリックの ID について説明します。
SWITCHID	INTEGER	—	イベントを生成したスイッチの ID について説明します。
SRCID	INTEGER	—	送信元ポートの ID について説明します。パフォーマンス マネージャ システム イベントだけに適用されます。
DESTID	INTEGER	—	宛先ポートの ID について説明します。パフォーマンス マネージャ システム イベントだけに適用されます。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. EVENTS\_SEVERITY\_INDEX は SEVERITY 列に基づくインデックスです。

表 1-23 EVENTS テーブルの TYPE フィールドの説明

TYPE	説明
0	その他
1	スイッチが検出された
2	スイッチが再起動された
3	スイッチに到達不能
4	スイッチが管理可能
5	スイッチが管理不能
6	スイッチ IP が変更された
7	VSAN が追加された
8	VSAN に到達不能
9	VSAN が動作中
10	VSAN が停止中
11	VSAN がマージされた
12	VSAN がセグメントに分割された
13	ゾーンセットが変更された
14	主要スイッチが変更された
15	ISL が動作中
16	ISL に到達不能
17	N_Port が動作中
18	N_Port に到達不能
19	N_Port が移動された
20	エンクロージャが追加された
21	エンクロージャが削除された

表 1-23 EVENTS テーブルの TYPE フィールドの説明 (続き)

TYPE	説明
22	バインドが拒否された
23	動作の切り替え
24	サービスまたはプロセスが再起動された
25	ファン トレイが変更された
26	電源が変更された
27	モジュールが変更された
28	FRU が取り付けられた
29	FRU が取り外された
30	ゾーンがマージされた
31	ファブリックが変更された
32	ファブリックが開かれた
33	ファブリックが閉じられた
34	ライセンス マネージャ
35	イメージがアップグレードされた
36	VRRP
37	IVRivr
38	FICON
39	サーバがダウン
40	しきい値を超えた
41	CFS
42	SAN が取り外された
43	ファブリックがマージされた
44	ファブリックが分割された
45	機能
46	FM ライセンス違反
47	ファブリックがパージされた
48	RMON イベント
49	センサ イベント

## EVENT\_FORWARD

表 1-24 で、EVENT\_FORWARD データベース スキーマ テーブル内のイベント通知設定について説明します。

表 1-24 EVENT\_FORWARD

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	エントリの ID について説明します。
TYPE	INTEGER	—	イベント転送エントリの種類について説明します。 トラップ = 1 電子メール = 2
FID	INTEGER	—	ファブリックの ID について説明します。0 は全ファブリックを示します。
VSAN_SCOPE	VARCHAR2(256)	—	VSAN スコープについて説明します。たとえば、「1, 2, 10-14」または「ALL」となります。
SEVERITY	INTEGER	—	転送処理をトリガする重大度について説明します。 0 = 緊急 1 = アラート 2 = クリティカル 3 = エラー 4 = 警告 5 = 注意 6 = 情報 7 = デバッグ
ADDRESS	VARCHAR2(256)	—	イベント通知のアドレスについて説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻について説明します。

## ETHSWITCH

表 1-25 で、ETHSWITCH データベース スキーマ テーブル内のイーサネット スイッチ設定について説明します。

表 1-25 イーサネット スイッチ

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID について説明します。
LICENSE_ID	INTEGER	—	ライセンスの ID について説明します。
IP_ADDRESS	RAW(100)	—	スイッチの IP アドレスについて説明します。
TYPE	INTEGER	—	スイッチの種類について説明します。
MODEL_NAME	VARCHAR2(255)	—	ハードウェア コンポーネントのモデル名について説明します。



表 1-25 イーサネットスイッチ (続き)

列名	データ型	制約	説明
IS_MANAGEABLE	NUMBER(1)	—	管理可能スイッチについて説明します。
UNMANAGEABLE_CAUSE	VARCHAR2(256)	—	管理不能スイッチとその原因について説明します。
NUM_PORTS	INTEGER	—	スイッチのポート番号について説明します。
GLOBAL_DEVICE_ID	VARCHAR2(256)	—	グローバルスイッチ ID について説明します。
DEVICE_ID	VARCHAR2(256)	—	スイッチ ID について説明します。
CAPABILITY	RAW(100)	—	スイッチの機能について説明します。
VTP_MGMT_DOMAIN	RAW(1000)	—	VTP 管理ドメインについて説明します。
VLAN_LIST	VARCHAR2(256)	—	VLAN のリストについて説明します。
SYS_NAME	VARCHAR2(256)	—	システム名について説明します。
SYS_CONTACT	VARCHAR2(256)	—	システムの連絡先について説明します。
SYS_LOCATION	VARCHAR2(256)	—	システムのロケーションについて説明します。
SYS_UPTIME	INTEGER	—	システムの稼働時間について説明します。
VERSION	VARCHAR2(256)	—	スイッチのバージョンを提供します。
IS_PRESENT	NUMBER(1)	—	スイッチが現在存在しているかどうかを提供します。
SERIAL_NUMBER	VARCHAR2(256)	—	製造時にピア ノードに割り当てられた連番です。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) を提供します。
SYS_DESCRIPTION	VARCHAR2(256)	—	システムの説明について説明します。

表 1-25 イーサネットスイッチ (続き)

列名	データ型	制約	説明
VENDOR	VARCHAR2(256)	—	ピア ノードを製造した会社の名前を提供します。
OPER_MODE	INTEGER	—	ポート タイプ別のリンクの動作モードです。 1 = 自動 2 = F 3 = FL 4 = E 5 = B 6 = FX 7 = SD 8 = TL 9 = N 10 = NL 11 = NX 12 = TE 13 = FV 14 = ダウン 15 = ST

## ETHSWITCH\_PORT

表 1-26 で、ETHSWITCH\_PORT データベーススキーマ テーブル内のイーサネットスイッチポート設定について説明します。

表 1-26 イーサネットスイッチポート

列名	データ型	制約	説明
ID	ID	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID を提供します。
IF_INDEX	INTEGER	—	イーサネットスイッチポートのインデックスについて説明します。
SWITCH_ID	INTEGER	—	各スイッチポートのスイッチ ID について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
STATUS	SMALLINT	—	スイッチのステータスについて説明します。
IF_SPEED	INTEGER	—	速度について説明します。
IF_NAME	VARCHAR2(256)	—	名前について説明します。
IF_TYPE	INTEGER	—	種類について説明します。
IF_DESCR	VARCHAR2(256)	—	説明を提供します。

表 1-26 イーサネット スイッチ ポート (続き)

列名	データ型	制約	説明
IP_ADDR	VARCHAR2(256)	—	IP アドレスを提供します。
MTU	INTEGER	—	イーサネット スイッチの MTU について説明します。

## CDP\_SEED

表 1-27 で、CDP\_SEED データベース スキーマ テーブル内の CDP\_SEED 設定について説明します。

表 1-27 CDP SEED

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID を提供します。
LAN_ID	INTEGER	—	LAN ID について説明します。
SERIAL_NUMBER	VARCHAR2(256)	—	製造時にピア ノードに割り当てられた連番です。
INET_ADDR	RAW(100)	—	INET アドレスについて説明します。
IP_RANGE	VARCHAR2(256)	—	IP 範囲について説明します。
SUBNET	VARCHAR2(256)	—	サブネットについて説明します。
MASK	VARCHAR2(256)	—	マスクについて説明します。
CRED_ID	INTEGER	—	クレデンシャル ID について説明します。
MAX_HOPS	INTEGER	—	最大ホップ数について説明します。
PLATFORM	VARCHAR2(256)	—	プラットフォームについて説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻です。

## LAN

表 1-28 で、LAN データベース スキーマ テーブル内の LAN 設定について説明します。

表 1-28 LAN

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID を提供します。
LAN_ID	INTEGER	—	LAN の ID を提供します。
LAN_NAME	VARCHAR2(256)	—	LAN 名を提供します。

表 1-28 LAN

列名	データ型	制約	説明
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間（ミリ秒）を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
IS_PERSISTENT	NUMBER(1)	—	LAN が持続的であるかどうかについて説明します。
IS_MANAGEABLE	NUMBER(1)	—	LAN が管理可能であるかどうかについて説明します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## ETHSWITCH\_PORT\_VLAN

表 1-29 で、ETHSWITCH\_PORT\_VLAN データベース スキーマ テーブル内のイーサネット スイッチ ポート設定について説明します。

表 1-29 ETHSWITCH\_PORT\_VLAN

列名	データ型	制約	説明
PORT_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	このポートに接続しているピア ノード内のポートの ID です。ピア ノードがコントロールユニットである場合、この値は 0 です。ピア ノードがチャンネルである場合、この値はピア ノード内のポートが含まれているチャンネルパスのチャンネルパス ID です。ピア ノードがファブリックである場合、この値はピア ノード内のポートのポートアドレスです。詳細については、CISCO-FC-FE-MIB を参照してください。
VLAN_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	VLAN の ID について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

## ETHISL\_VLAN

表 1-30 で、ETHISL\_VLAN データベース スキーマ テーブル内のイーサネット ISL VLAN 設定について説明します。

表 1-30 ETHISL\_VLAN

列名	データ型	制約	説明
ISL_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	ISL の ID です。
VLAN_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	VLAN の ID について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

## FABRIC

表 1-31 で、FABRIC データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-31 FABRIC

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	データベース エントリのプライマリ キーを提供します。
SEED_SWITCH_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	ファブリック ディスカバリを開始したスイッチの ID を提供します。
IVR_SEED_SWITCH_ID <sup>2</sup>	INTEGER	—	IVR データを送信したスイッチの ID を提供します。
ALIAS_SEED_SWITCH_ID	INTEGER	—	エイリアス スwitch の ID を提供します。
LICENSE_ID	INTEGER	—	非推奨。
IVR_ENF_ZONESET_NAME	VARCHAR2(256)	—	アクティブ IVR ゾーンセットの名前を提供します。
IVR_ENF_ZONESET_ACTIVATE_TIME	INTEGER	—	IVR ゾーンセットがアクティブになっている時間 (ミリ秒) を提供します。
IVR_ACTIVE_ZONESET_CHECKSUM	RAW(100)	—	IVR アクティブ ゾーンセットのチェックサムです。
POLLING_ENABLED	NUMBER(1)	—	ファブリックが定期的にポーリングされているかどうかについて説明します。
POLLING_INTERVAL	INTEGER	—	ファブリックのポーリング間隔 (秒) を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) を提供します。
SNMP_RETRIES	INTEGER	—	SNMP 再試行の回数を提供します。
SNMP_TIMEOUT	INTEGER	—	SNMP タイムアウト (ミリ秒) を提供します。
FMUSER_ID	INTEGER	—	非推奨。

表 1-31 FABRIC (続き)

列名	データ型	制約	説明
NAME	VARCHAR2(256)	—	ファブリック名について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
SAN_ID	INTEGER	—	親 SAN の ID を提供します。
FID	INTEGER	—	ファブリックの ID を提供します。
IS_PERSISTENT	NUMBER(1)	—	継続的なモニタリングが有効かどうかを示します。
ON_DEMAND_POLL_FREQ	INTEGER	—	ファブリック ディスカバリ用のオンデマンドポーリング間隔 (秒) です。
IVR_TOPO_CFG_CHECKSUM	RAW(100)	—	非推奨。
IVR_TOPO_ACT_CHECKSUM	RAW(100)	—	非推奨。
IVR_TOPO_AFID_CFG_CHECKSUM	RAW(100)	—	非推奨。
IVR_TOPO_DEF_AFID_CHECKSUM	RAW(100)	—	非推奨。
IVR_TOPO_VALIDATED	NUMBER(1)	—	非推奨。
USE_GLOBAL_ALIAS	NUMBER(1)	—	ファブリックがグローバルエイリアスを使用するように設定されているかどうかを示します。
IS_MANAGEABLE	NUMBER(1)	—	ファブリックが管理可能かどうかについて説明します。
DEVICE_ALIAS_SEED_ID <sup>3</sup>	INTEGER	—	デバイスエイリアスシードの ID について説明します。
DEVICE_ALIAS_CHECKSUM	RAW(100)	—	ファブリック内のデバイスエイリアスデータベース用チェックサムについて説明します。
VSANS_INCLUDED	VARCHAR2(256)	—	ファブリックから組み込まれた VSAN について説明します。
VSANS_EXCLUDED	VARCHAR2(256)	—	ファブリックから除外された VSAN について説明します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. FABRIC SEED SWITCH ID は SEED SWITCH ID 列に基づくインデックスです。
2. FABRIC IVR SEED SWITCH ID は IVR SEED SWITCH ID 列に基づくインデックスです。
3. FABRIC\_DEVICE\_ALIAS\_SEED\_ID は DEVICE\_ALIAS\_SEED\_ID 列に基づくインデックスです。

## FAILED ATTEMPTS

このテーブルではユーザが失敗した試行の回数についてについて説明します。表 1-32 で、FAILED\_ATTEMPTS データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-32 FAILED ATTEMPTS

列名	データ型	制約	説明
USER_NAME <sup>1</sup>	VARCHAR2(256)	PRIMARY KEY	セキュリティ用に暗号化されたユーザ名を提供します。
FAILED_ATTEMPT_TIME	INTEGER	PRIMARY KEY	各ユーザの失敗した試行回数について説明します。

1. FAILED\_ATTEMPTS\_INDEX は USER\_NAME 列に基づくインデックスです。

## FICON\_INFO

このテーブルではスイッチへの FICON 接続について説明します。PORT\_ID を使用してこの FICON 接続を SWITCH\_PORT テーブルのポートに関連付けます。表 1-33 で、FICON\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-33 FICON\_INFO

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	インターフェイス ID を提供します。
VENDOR	VARCHAR2(256)	—	ピア ノードを製造した会社の名前を提供します。
TYPE_NUM	VARCHAR2(256)	—	ピア ノードのタイプ番号を提供します。
MODEL_NUM	VARCHAR2(256)	—	ピア ノードのモデル番号を提供します。
SERIAL_NUM	VARCHAR2(256)	—	製造時にピア ノードに割り当てられた連番を提供します。
PORT_ID <sup>1</sup>	VARCHAR2(256)	—	このポートに接続しているピア ノード内のポートの ID を提供します。ピア ノードがコントロールユニットである場合、この値は 0 です。ピア ノードがチャネルである場合、この値はピア ノード内のポートが含まれているチャネルパスのチャネルパス ID です。ピア ノードがファブリックである場合、この値はピア ノード内のポートのポートアドレスです。詳細については、CISCO-FC-FE-MIB を参照してください。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR	—	非推奨。

1. FICON\_PORT\_ID\_INDEX は PORT\_ID 列に基づくインデックスです。

## FMUSER

このテーブルでは SAN ユーザの DCNM について説明します。表 1-34 で、FMUSER データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-34 FMUSER

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	Cisco DCNM for SAN ユーザの ID を提供します。
USER_NAME <sup>1</sup>	VARCHAR2(256)	—	セキュリティ用に暗号化されたユーザ名を提供します。
AUTH_PASSWORD	VARCHAR2(256)	—	セキュリティ用に暗号化された認証パスワードを提供します。
ROLE_NAME	VARCHAR2(256)	—	ユーザ ロール名について説明します。ネットワーク管理者またはオペレータです。
IS_LOGGING_IN	NUMBER(1)	—	ユーザのログイン ステータスを提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

1. FMUSER\_USERNAME\_INDEX は USER\_NAME 列に基づくインデックスです。

## FMSESSION

このテーブルでは Cisco DCNM for SAN ユーザ セッションについて説明します。表 1-35 で、FMSESSION データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-35 FMSESSION

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID を指定します。
SERVER_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	Cisco DCNM for SAN セッションのサーバ ID について説明します。
CLIENT	VARCHAR2(80)	NOT NULL	Cisco DCNM for SAN セッション内のクライアントについて説明します。
IS_LOCAL	NUMBER(1)	NOT NULL	Cisco DCNM for SAN セッションがローカルかどうかについて説明します。
USER_NAME	VARCHAR2(80)	NOT NULL	ユーザ名について説明します。
AUTH_PASSWORD	VARCHAR2(80)	NOT NULL	Cisco DCNM for SAN セッション ユーザのパスワードを指定します。
ROLE_NAME	VARCHAR2(80)	NOT NULL	ユーザ ロール名を指定します。ネットワーク管理者またはオペレータです。



表 1-35 FMSESSION

列名	データ型	制約	説明
LOGIN_TIME	TIMESTAMP	NOT NULL	ユーザの最終ログインについて説明します。
LAST_ACCESS_TIME	TIMESTAMP	NOT NULL	ユーザの最終アクセス時刻について説明します。

## GROUPS

このテーブルではファブリック内の SAN グループの DCNM について説明します。FABRIC\_ID を使用してこのグループを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。表 1-36 で、GROUPS データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-36 GROUPS

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	グループの ID を提供します。
FABRIC_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	グループが属するファブリックの ID を提供します。
NAME <sup>1</sup>	VARCHAR2(256)	—	グループ名について説明します。
TYPE	INTEGER	—	グループのタイプです。 1 = スイッチ 2 = エンドポート
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

1. GROUP\_FABRICID\_NAME\_INDEX は FABRIC\_ID 列および NAME 列に基づくインデックスです。

## GROUP\_FABRIC\_INFO

このテーブルではユーザ定義の論理グループとファブリック間のマッピングについて説明します。表 1-37 で、GROUP\_FABRIC\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-37 GROUP\_FABRIC\_INFO

列名	データ型	制約	説明
GROUP_ID <sup>1</sup>	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	グループの ID を提供します。
FABRIC_ID <sup>2</sup>	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	グループが属するファブリックの ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

1. GROUP FABRIC GROUP ID は GROUP ID 列に基づくインデックスです。
2. GROUP\_FABRIC\_FABRIC\_ID は FABRIC\_ID 列に基づくインデックスです。

## GROUP\_MEMBER\_INFO

このテーブルではグループのメンバーについて説明します。GROUP\_ID を使用してこのメンバーをグループに関連付けます。MEMBER\_ID を使用して SWITCH または END\_PORT テーブルの ID を参照します。表 1-38 で、GROUP\_MEMBER\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-38 GROUP\_MEMBER\_INFO

列名	データ型	制約	説明
GROUP_ID <sup>1</sup>	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	グループの ID を提供します。
MEMBER_ID <sup>2</sup>	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	グループ メンバの ID (スイッチ ID またはエンドポート ID) を提供します。
TYPE	INTEGER	—	グループ メンバの種類について説明します。 1 = スイッチ 2 = エンドポート
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

1. GROUP\_MEMBER GROUP ID は GROUP ID 列に基づくインデックスです。
2. GROUP\_MEMBER\_MEMBER\_ID は MEMBER\_ID 列に基づくインデックスです。

## GROUP\_USER\_INFO

このテーブルではグループのユーザについて説明します。表 1-39 で、GROUP\_MEMBER\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-39 GROUP\_USER\_INFO

列名	データ型	制約	説明
GROUP_ID <sup>1</sup>	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	グループの ID を提供します。
FMUSER_ID <sup>2</sup>	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	各ユーザの Cisco DCNM for SAN ユーザ ID について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

1. GROUP\_USER GROUP ID は GROUP ID 列に基づくインデックスです。
2. GROUP\_USER\_FMSUER\_ID は FMUSER\_ID 列に基づくインデックスです。

## DCNMUSER

このテーブルでは DCNM ユーザについて説明します。表 1-40 で、DCNMUSER データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-40 DCNMUSER ユーザ アクセス コントロール テーブル

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	ユーザの ID を提供します。
VERSION	INTEGER	—	DCNM のバージョンを提供します。
USERID	VARCHAR2(256)	NOT NULL	DCNM ユーザの固有ユーザ ID を提供します。
PASSWORD	VARCHAR2(256)	—	セキュリティ用の暗号化されたパスワードを提供します。
ROLE	VARCHAR2(256)	—	DCNM ユーザ ロールについて説明します。

## HBA

このテーブルでは WWN をホスト バス アダプタに関連付けます。ENCLOSURE\_ID を使用して各 HBA を ENCLOSURE テーブルのエンクロージャに関連付けます。表 1-41 で、HBA データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-41 HBA

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	HBA の ID を提供します。
ENCLOSURE_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	親エンクロージャの ID を提供します。
HWWN <sup>2</sup>	RAW(8)	—	HBA WWN (そのポート WWN の 1 つ) について説明します。
NWWN <sup>3</sup>	RAW(8)	—	ノード WWN について説明します。
TYPE	SMALLINT	—	非推奨。
MANUFACTURER	VARCHAR2(256)	—	メーカーの名前を提供します。
SERIAL_NUMBER	VARCHAR2(256)	—	HBA のシリアル番号を提供します。
MODEL	VARCHAR2(256)	—	HBA のモデルを提供します。
MODEL_DESCRIPTION	VARCHAR2(256)	—	HBA のモデル説明を提供します。
HW_VERSION	VARCHAR2(256)	—	ハードウェアのバージョンを提供します。

表 1-41 HBA (続き)

列名	データ型	制約	説明
SW_VERSION	VARCHAR2(256)	—	ファームウェア バージョンを提供します。
DRIVER_VERSION	VARCHAR2(256)	—	ドライバのバージョンを提供します。
OPT_ROM_VERSION	VARCHAR2(256)	—	オプションの ROM バージョンです。
OS	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
IP_ADDRESS	VARCHAR2(256)	—	HBA の IP アドレスを提供します。
IS_PRESENT	NUMBER(1)	—	HBA が存在するかどうかを示します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
STATUS	INTEGER	—	非推奨。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. HBA ENCLOSURE ID INDEX は ENCLOSURE ID 列に基づくインデックスです。
2. HBA HWWN INDEX は HWWN 列に基づくインデックスです。
3. HBA\_NWWN\_INDEX は NWWN 列に基づくインデックスです。

## HW\_CARD

このテーブルではハードウェア コンポーネントの電源とステータスを表示します。HW\_COMPONENT\_ID を使用して、各列を HW\_COMPONENT テーブルのハードウェア コンポーネントに関連付けます。表 1-42 で、HW\_CARD データベーススキーマ テーブルについて説明します。

表 1-42 HW\_CARD

列名	データ型	制約	説明
HW_COMPONENT_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	HW_COMPONENT テーブルのエントリの ID を提供します。
MODEL_TYPE	INTEGER	—	カードのモデル タイプを提供します。表 1-43 を参照してください。
ADMIN_STATUS	INTEGER	—	カードの管理ステータスについて説明します。 1 = イネーブル 2 = ディセーブル 3 = リセット 4 = アウト オブ サービス
OPER_STATUS	INTEGER	—	カードの動作ステータスを提供します。表 1-44 を参照してください。
RESET_REASON	VARCHAR2(256)	—	カードがリセットされた理由を提供します。

表 1-42 HW\_CARD (続き)

列名	データ型	制約	説明
STATUS_LAST_CHANGE_TIME	INTEGER	—	ステータスが最後に変化した時間 (1/100 秒単位) を提供します。
POWER_ADMIN_STATUS	INTEGER	—	カードの電源の管理ステータスについて説明します。 1 = オン 2 = オフ 3 = インライン自動 4 = インライン オン
POWER_OPER_STATUS	INTEGER	—	カードの電源の動作ステータスについて説明します。 1 = 環境または他の理由によるオフ 2 = オン 3 = 管理のためにオフ 4 = オフが拒否された 5 = 環境電源によるオフ 6 = 環境温度によるオフ 7 = 環境ファンによるオフ 8 = 故障 9 = オンであるがファンが故障
POWER_CURRENT	INTEGER	—	システム電源のプライマリ出力の電流測定値について説明します。範囲は $-1.0 \times 10^6$ A ~ $1.0 \times 10^6$ A です。負の値は、FRU が使用する電流を表します。正の値は、FRU が供給する電流を表します。
DMM_STATE	INTEGER	—	モジュールが DMM (データ マイグレーション) かどうかについて説明します。

表 1-43 HW\_CARD テーブルの MODEL\_TYPE フィールドの説明

MODEL_TYPE の値	説明
1	9500 スーパーバイザ
2	9500 冗長スーパーバイザ
3	9500 16x 2-Gbps FC モジュール
4	9500 32x 2-Gbps FC モジュール
5	9500 32x 2-Gbps FC サービス (ILC)
6	9500 8x 1GE IP ストレージ サービス (IPS)
7	キャッシング サービス モジュール (CSM)
13	9216 16x 2-Gbps FC モジュールおよびスーパーバイザ
18	9140 40x 2-Gbps FC モジュール
19	9120 20x 2-Gbps FC モジュール
20	拡張サービス モジュール (ASM)
21	MDS 9216 SAM モジュール
22	14 FC + 2 GE マルチプロトコル サービス モジュール
23	2x10-Gbps FC 10-Gbps FC モジュール

表 1-43 HW\_CARD テーブルの MODEL\_TYPE フィールドの説明 (続き)

MODEL_TYPE の値	説明
24	4x GE iSCSI/FCIP サービス モジュール
27	9216i 14 FC + 2 IPS およびスーパーバイザ
28	スーパーバイザ -2、スーパーバイザ、またはファブリック モジュール
29	12 ポート FC スイッチング モジュール
30	24 ポート FC スイッチング モジュール
31	48 ポート FC スイッチング モジュール
32	4 ポート 10G FC モジュール
33	13 スロット シャーシの背面にあるクロスバー モジュール
35	9124 24x 4Gbps FC モジュールおよびスーパーバイザ
36	IBM BladeCenter 用 20 ポート FC スイッチング モジュール
37	HP c-Class BladeSystem 用 24 ポート FC スイッチング モジュール
39	18x 1/2/4G FC + 4x GE モジュール
40	32x 1/2/4G FC + 2x 10 G FC + スーパーバイザ モジュール
41	18x 1/2/4G FC + 4x 10 GE + スーパーバイザ モジュール
42	48 ポート 1/2/4/8G 48-Gbps FC モジュール
43	48 ポート 1/2/4/8G 96-Gbps FC モジュール
44	16 GE ポート ストレージ サービス モジュール
45	Cisco MDS 9513 ファブリック モジュール 2
46	24 ポート 1/2/4/8G 48-Gbps FC モジュール
49	HP BladeSystem c-Class 用 8-Gb ファブリック スイッチ
51	48 ポート 1/2/4/8 Gbps FC/ スーパーバイザ -2 9148 モジュール
56	スーパーバイザ -2A、スーパーバイザ/ファブリック モジュール (2 GB RAM 搭載)
254	9020 20 ポート 4-Gbps FC

表 1-44 HW\_CARD テーブルの OPER\_STATUS フィールドの説明

OPER_STATUS の値	説明
1	不明
2	良好
3	ディセーブル
4	良好であるが診断に失敗
5	ブート
6	セルフテスト
7	故障
8	欠落
9	かっこの不一致
10	設定の不一致
11	診断に失敗

表 1-44 HW\_CARD テーブルの OPER\_STATUS フィールドの説明 (続き)

OPER_STATUS の値	説明
12	休止中
13	アウト オブ サービス (管理)
14	アウト オブ サービス (環境温度)
15	電源オフ
16	電源オン
17	電源が拒否された
18	電源が再投入された
19	良好であるが電力超過が警告
20	良好であるが電力超過がクリティカル
21	同期化実行中

## HW\_COMPONENT

このテーブルではスイッチのモデル番号、製造者、および改訂について説明します。SWITCH\_ID を使用して各ハードウェア コンポーネントを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。表 1-45 で、HW\_COMPONENT データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-45 HW\_COMPONENT

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	ハードウェア コンポーネントの ID を提供します。
SWITCH_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	親スイッチの ID を提供します。
NAME	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントの名前について説明します。
PHYSICAL_INDEX	INTEGER	—	スイッチ カード オフセットと組み合わせて相対的なスロット番号を生成する値について説明します。
RELATIVE_POSITION	INTEGER	—	ハードウェア コンポーネントの相対位置について説明します。カードの場合はスロット番号です。
HW_TYPE	INTEGER	—	ハードウェア コンポーネントの種類について説明します。 1 = その他 2 = 不明 3 = シャーシ 4 = バックプレーン 5 = コンテナ 6 = 電源 7 = ファン 8 = センサ 9 = モジュール 10 = ポート 11 = スタック
VENDOR_TYPE	RAW(200)	—	ハードウェア コンポーネントのベンダーの種類を提供します。

表 1-45 HW\_COMPONENT (続き)

列名	データ型	制約	説明
HW_REVISION	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのハードウェア リビジョンを提供します。
FW_REVISION	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのファームウェア リビジョンを提供します。
SW_REVISION	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのソフトウェア リビジョンを提供します。
SERIAL_NUMBER	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのシリアル番号を提供します。
MANUFACTURER	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのメーカーを提供します。
MODEL_NAME	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのモデル名を提供します。
ASSET_ID	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントの資産 ID を提供します。
STATUS_DESCRIPTION	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのステータス説明を提供します。
SEC_SERIAL_NUMBER	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのセカンダリ シリアル番号を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

1. HW\_COMPONENT\_SWITCH\_ID は SWITCH\_ID 列に基づくインデックスです。

## HW\_POWER\_SUPPLY

このテーブルではエンクロージャの電源供給のステータスを表示します。HW\_COMPONENT\_ID を使用して、エントリを HW\_COMPONENT テーブルのハードウェア コンポーネントに関連付けます。表 1-46 で、HW\_POWER\_SUPPLY データベーススキーマ テーブルについて説明します。

表 1-46 HW\_POWER\_SUPPLY

列名	データ型	制約	説明
HW_COMPONENT_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	HW_COMPONENT テーブルのエントリの ID を提供します。
REDUNDANCY_MODE	INTEGER	—	冗長モードについて説明します。 1 = 非サポート 2 = 冗長 3 = 連結 詳細については、 CISCO-ENTITY-FRU-CONTROL-MIB を参照してください。
TOTAL_DRAWN_CURRENT	INTEGER	—	電源モジュールが引き出す総電流を提供します。



表 1-46 HW\_POWER\_SUPPLY (続き)

列名	データ型	制約	説明
TOTAL_AVAILABLE_CURRENT	INTEGER	—	電源モジュールが使用できる総電流を提供します。
POWER_UNITS	VARCHAR2(256)	—	電源装置の台数を提供します。

## ISL

このテーブルでは2つのポートにリンクしている ISL について説明します。PORT1\_ID と PORT2\_ID を使用してこれらのポートを SWITCH\_PORT テーブルのポートに関連付けます。この ISL が PortChannel メンバーの場合は、CHANNEL\_ID は親チャンネル ID を参照します。表 1-47 で、ISL データベーススキーマ テーブルについて説明します。

表 1-47 ISL Cisco DCNM for SAN データベーススキーマ テーブル

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブルの ISL エントリの ID を提供します。
PORT1_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	port1 (小さい WWN を持つポート) の ID を提供します。
PORT2_ID <sup>2</sup>	INTEGER	—	port2 の ID を提供します。
OPER_MODE	SMALLINT	—	ポートタイプ別リンクの動作モードについて説明します。 1 = 自動 2 = F 3 = FL 4 = E 5 = B 6 = FX 7 = SD 8 = TL 9 = N 10 = NL 11 = NX 12 = TE 13 = FV 14 = ダウン 15 = ST
IS_PRESENT	NUMBER(1)	—	現行のファブリックに ISL が存在するかどうかを示します。
STATUS	SMALLINT	—	非推奨。
OPER_STATUS_CAUSE	INTEGER	—	OPER_MODE が MODE_DOWN かどうかについて説明します。値はダウンステータスです。
OPER_STATUS_DESCRIPTION	VARCHAR2(256)	—	OPER_MODE が MODE_DOWN かどうかについて説明します。値はダウンステータスの説明です。

表 1-47 ISL Cisco DCNM for SAN データベーススキーマテーブル (続き)

列名	データ型	制約	説明
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリーが更新された時刻を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) を提供します。
CHANNEL_CONFIG_CHILD_COUNT	INTEGER	—	設定されている PortChannel メンバカウントを提供します。
CHANNEL_CURRENT_CHILD_COUNT	INTEGER	—	PortChannel メンバカウントを提供します。
AUTO_CREATED	NUMBER(1)	—	エントリーが自動的に作成されたかどうかを示します。
IS_CHANNELMEMBER <sup>3</sup>	NUMBER(1)	—	ISL が PortChannel メンバかどうかを示します。
CHANNEL_ID	INTEGER	—	ISL が PortChannel メンバである場合は、親チャンネル ID について説明します。
IF_INDEX_1	INTEGER	—	一方の端にあるスイッチポートの IF インデックスです。
IF_INDEX_2	INTEGER	—	他方の端にあるスイッチポートの IF インデックスです。
FICON_ADDRESS_1	INTEGER	—	一方の端にあるスイッチポートの FICON アドレスを提供します。
FICON_ADDRESS_2	INTEGER	—	他方の端にあるスイッチポートの FICON アドレスを提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. ISL P1 INDEX は PORT1 ID 列に基づくインデックスです。
2. ISL P2 INDEX は PORT2 ID 列に基づくインデックスです。
3. ISL\_CHANNELMEMBER は IS\_CHANNELMEMBER 列に基づくインデックスです。

## LICENSE

このテーブルではスイッチで設定され、使用されているライセンスについて説明します。SWITCH\_ID を使用して各エントリーを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。表 1-48 で、LICENSE データベーススキーマテーブルについて説明します。

表 1-48 LICENSE

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	ライセンスの ID を提供します。
SWITCH_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	ライセンスがインストールされたスイッチの ID を提供します。
FEATURE_NAME	VARCHAR2(256)	—	ライセンスの名前を提供します。

表 1-48 LICENSE (続き)

列名	データ型	制約	説明
TYPE	INTEGER	—	非推奨。
LICENSE_FLAG	RAW(100)	—	ライセンスの種類を示すライセンス フラグを提供します。 0 = デモ 1 = 永久 2 = カウント 3 = ライセンスなし 4 = 猶予期間中
MAX_LICENSE	INTEGER	—	最大ライセンス数について説明します。
MISSING_LICENSE	INTEGER	—	不足しているライセンスの数について説明します。
CURRENT_LICENSE	INTEGER	—	現行のライセンスの数について説明します。
EXPIRE	INTEGER	—	ライセンスの有効期間 (ミリ秒) について説明します。
GRACE_PERIOD	INTEGER	—	ライセンスの猶予期間 (秒) について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻です。
RESERVE_COL1	VARCHAR29 (256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2( 256)	—	非推奨。

1. LICENSE\_SWITCH\_ID\_INDEX は SWITCH\_ID 列に基づくインデックスです。

## NTOP

このテーブルでは設定された NTOP エンティティについて説明します。表 1-49 で、NTOP データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-49 NTOP

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	エントリの ID について説明します。
IP_ADDR <sup>1</sup>	VARCHAR2( 256)	—	スイッチの IP アドレスについて説明します。
PORT_NUMBER <sup>2</sup>	INTEGER	—	スイッチのポート番号について説明します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻について説明します。

1. NTOP\_IP\_INDEX は IP\_ADDR 列に基づくインデックスです。

2. NTOP\_PORT\_INDEX は PORT\_NUMBER 列に基づくインデックスです。

## NTOP\_SPAN\_INFO

このテーブルでは NTOP エンティティを SPAN ポートに関連付けます。SPAN\_PORT\_ID を使用してエンティティを SPAN\_PORT テーブルの SPAN ポートに関連付けます。表 1-50 で、NTOP\_SPAN\_INFO データベーススキーマ テーブルについて説明します。

表 1-50 NTOP\_SPAN\_INFO

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	エントリの ID について説明します。
NTOP_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	NTOP テーブルの外部キーについて説明します。
SPAN_PORT_ID <sup>2</sup>	INTEGER	—	SPAN_PORT テーブルの外部キーについて説明します。
ETH_NAME	VARCHAR29 (256)	—	イーサネットポート名について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻について説明します。

1. NTOP\_SPAN\_NTOPID\_INDEX は NTOP ID 列に基づくインデックスです。

2. NTOP\_SPAN\_SPANID\_INDEX は SPAN\_PORT\_ID 列に基づくインデックスです。

## NPV\_LINK

このテーブルでは N ポート仮想化リンク情報について説明します。表 1-51 で、NPV\_LINK データベーススキーマ テーブルについて説明します。

表 1-51 NPV\_LINK

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID を提供します。
CORE_SWITCH_ID	INTEGER	—	コアスイッチの ID を提供します。
NP_SWITCH_ID	INTEGER	—	NP スwitch の ID を提供します。
F_PORT_INDEX <sup>1</sup>	INTEGER	—	F ポートのインデックスを提供します。
NP_PORT_INDEX <sup>2</sup>	INTEGER	—	NP ポートのインデックスを提供します。
F_WWN	RAW(8)	—	デバイス F ポートのログの WWN を提供します。
NP_WWN	RAW(8)	—	デバイス NP ポートのログの WWN を提供します。
OPER_STATUS_CAUSE	INTEGER	—	動作のステータスの原因について説明します。
SPEED	INTEGER	—	速度について説明します。

表 1-51 NPV\_LINK (続き)

列名	データ型	制約	説明
IS_PRESENT	NUMBER(1)	—	リンクが存在するかどうかについて説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
LAST_SCAN_TIME	INTEGER	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) を提供します。
CHANNEL_CONFIG_CHILD_COUNT	INTEGER	—	子カウントの数について説明します。
CHANNEL_CURRENT_CHILD_COUNT	INTEGER	—	チャンネルの現在の子カウントの数について説明します。
AUTO_CREATED	NUMBER(1)	—	NPV リンクが自動的に作成されるかどうかについて説明します。
IS_CHANNELMEMBER	NUMBER(1)	—	リンクがチャンネル メンバであるかどうかについて説明します。
CHANNEL_ID	INTEGER	—	チャンネルの ID を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. NPV LINK FP INDEX は F PORT INDEX 列に基づくインデックスです。
2. NPV\_LINK\_NPP\_INDEX は NP\_PORT\_INDEX 列に基づくインデックスです。

## PMDATAINDEX

このテーブルでは RRD ファイルの論理的物理的マッピングをメンテナンスします 表 1-52 で、PMDATAINDEX データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-52 PMDATAINDEX

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	—	エントリの ID を提供します。
LOGICALFILENAME <sup>1</sup>	VARCHAR2(256)	—	論理 RRD ファイル名を提供します。
FILETYPE	INTEGER	—	ファイル タイプの値は次のいずれかです。 0 = 不明 1 = ISL 2 = フロー 3 = 発信側 4 = ターゲット 5 = その他 6 = ギガビットイーサネット
DATAINDEX	INTEGER	—	RRD データ ソース インデックスを提供します。
PHYSICLFILEINDEX	INTEGER	—	物理ファイル インデックスを提供します。

1. PMDATAINDEX\_LOGICALFILE\_INDEX は LOGICALFILENAME 列に基づくインデックスです。

## PMEXTRAOID

このテーブルではパフォーマンス マネジャー データ収集のオブジェクト ID と スイッチ IP を定義します。表 1-53 で、PMEXTRAOID データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-53 PMEXTRAOID

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	レコード ID を提供します。
FID <sup>1</sup>	INTEGER	—	ファブリック ID を提供します。
NAME	VARCHAR2(256)	—	パフォーマンス マネージャのオブジェクト ID を提供します。
DISPLAYNAME	VARCHAR2(256)	—	Web クライアントで使用される名前をテーブルに表示します。
SWITCHIP	VARCHAR2(256)	—	スイッチの IP アドレスを提供します。
TYPE	VARCHAR2(256)	—	RRD データ ソース タイプの文字値は、次のいずれかです。 COUNT ABSOLUTE GAUGE
SWITCHNAME	VARCHAR2(256)	—	スイッチ名について説明します。

1. PMEXTRAOID\_FABRIC\_ID\_INDEX は FID 列に基づくインデックスです。

## PMINDEXBOOKMARK

このテーブルでは RRD ファイルの現在のブックマーク インデックスをメンテナンスします。表 1-54 で、PMINDEXBOOKMARK データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-54 PMINDEXBOOKMARK

列名	データ型	制約	説明
TYPE	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	ファイル タイプの値は次のいずれかです。 0 = 不明 1 = ISL 2 = フロー 3 = 発信側 4 = ターゲット 5 = その他 6 = ギガビットイーサネット
BOOKMARKINDEX	INTEGER	—	現行の RRD ファイルのブックマーク インデックスを提供します。
BOOKMARKCOUNT	INTEGER	—	ブックマークの数を提供します。
SERVERID	INTEGER	PRIMARY KEY	サーバの ID を提供します。

## PM\_COLLECTION

このテーブルではパフォーマンス マネジャー収集について説明します。FABRIC\_ID を使用してこの収集を FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。表 1-55 で、PM\_COLLECTION データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-55 PM\_COLLECTION

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	エントリの ID を提供します。
FABRIC_ID <sup>1</sup>	INTEGER	—	ファブリック ID (ファブリック テーブルの外部キー) を提供します。
VSAN_LIST	VARCHAR2(256)	—	VSAN のリストを提供します (たとえば、「1,5,6,4001」)。
MONITOR_ISL	NUMBER(1)	—	ファブリック用に ISL PM を収集するかどうかについて説明します。
MONITOR_HOST	NUMBER(1)	—	ファブリック用にホスト PM を収集するかどうかについて説明します。
MONITOR_STORAGE	NUMBER(1)	—	ファブリック用にストレージ PM を収集するかどうかについて説明します。
MONITOR_FLOW	NUMBER(1)	—	ファブリック用にフロー PM を収集するかどうかについて説明します。
MONITOR_GIGE	NUMBER(1)	—	ファブリック用にギガビットイーサネットポート PM を収集するかどうかについて説明します。
MONITOR_OTHER	NUMBER(1)	—	ファブリック用にカスタマイズされた他の PM を収集するかどうかについて説明します。
TRAFFIC_THRESHOLD_ENABLE	NUMBER(1)	—	トラフィックのしきい値検査がイネーブルになっているかどうかについて説明します。
EVENT_THRESHOLD	NUMBER(1)	—	イベントのしきい値検査がイネーブルになっているかどうかについて説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

1. PM\_POLICY\_FABRIC\_ID\_INDEX は FABRIC\_ID 列に基づくインデックスです。

## PM\_OPTION

このテーブルではパフォーマンス マネジャー収集のしきい値の詳細について説明します。ID を使用してこれらの詳細を PM\_COLLECTION テーブルのパフォーマンス マネジャー収集に関連付けます。表 1-56 で、PM\_OPTION データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-56 PM\_OPTION

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	エントリの ID を提供します。
AUTO_COLLECT_NEW_DEVICE	NUMBER(1)	—	新しいデバイス PM を自動的に収集するかどうかについて説明します。

表 1-56 PM\_OPTION

列名	データ型	制約	説明
INTERPOLATION	NUMBER(1)	—	TRUE の場合は、データ収集の不足部分を補間します。
THRESHOLD_TYPE	INTEGER	—	しきい値の種類です。 0 = しきい値検査なし 1 = 固定しきい値検査 他の値の場合は、履歴データからのベースラインを使用してしきい値検査を実行します。
CRITICAL_WATERMARK	INTEGER	—	クリティカル ウォーターマークです。トラフィックが容量または平均トラフィックのこの比率を超えると、クリティカル イベントがトリガされます。BASELINE_PERIOD が 0 の場合、値は容量に関係します。BASELINE_PERIOD が 0 でない場合、値はベースライン期間の平均値に関係します。たとえば、BASELINE_PERIOD が 0 の場合、80 は、トラフィックが容量の 80% を超えると、クリティカル イベントがトリガされることを示します。
WARNING_WATERMARK	INTEGER	—	警告ウォーターマークです。トラフィックが容量または平均トラフィックのこの比率を超えると、警告イベントがトリガされます。BASELINE_PERIOD が 0 の場合、値は容量に関係します。BASELINE_PERIOD が 0 でない場合、値はベースライン期間の平均値に関係します。たとえば、BASELINE_PERIOD が 3 の場合、150 は、トラフィックが 3 日間の平均値の 150% を超えると、警告イベントがトリガされることを示します。
BASELINE_PERIOD	INTEGER	—	しきい値検査に使用されるベースライン期間です。BASELINE_PERIOD が 0 の場合は、リンクの容量に基づいた固定しきい値検査を使用します。そうでない場合は、日数で指定された履歴を使用します。たとえば、7 ではデータ履歴の最後の 7 日間が使用されます。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
FIVE_MIN_SAMPLE_DAYS	INTEGER	DEFAULT 600	5 分間隔でサンプルを収集する日数を提供します。
THIRTY_MIN_SAMPLE_DAYS	INTEGER	DEFAULT 700	30 分間隔でサンプルを収集する日数を提供します。
TWO_HOUR_SAMPLE_DAYS	INTEGER	DEFAULT 775	2 時間間隔でサンプルを収集する日数を提供します。
DAILY_SAMPLE_DAYS	INTEGER	DEFAULT 300	1 日間隔でサンプルを収集する日数を提供します。
ISL_INTERVAL	INTEGER	DEFAULT 300	ISL オブジェクトの収集間隔 (秒) です。30、60、90、最大は 300 です。



## ROLE

このテーブルでは各ユーザが使用できるロールの種類について説明します。表 1-57 で、ROLE データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-57 ROLE

列名	データ型	制約	説明
ROLE_NAME	VARCHAR2(256)	NOT NULL PRIMARY KEY	ユーザのロール名について説明します。
DESCRIPTION	VARCHAR2(256)		各ユーザのロールについて説明します。

## ROLE\_FABRIC\_INFO

このテーブルでは各ファブリックに関連付けられたロールの種類と、ロールが最後に更新された時刻について説明します。表 1-58 で、ROLE\_FABRIC\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-58 ROLE\_FABRIC\_INFO

列名	データ型	制約	説明
ROLE_NAME	VARCHAR2(256)	NOT NULL PRIMARY KEY	ユーザのロール名について説明します。
FABRIC_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	ファブリックの ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP		エントリが更新された時刻を提供します。

## SCSI\_TARGET

このテーブルでは SCSI ターゲットに WWN を提供します。ID を使用してこの SCSI ターゲットを SWITCH\_PORT テーブルのポートに関連付けます。表 1-59 で、SCSI\_TARGET データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-59 SCSI\_TARGET

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	SCSI ターゲットの ID を提供します。
WWN	RAW(8)	—	SCSI ターゲットの WWN を提供します。
ENCLOSURE_ID	INTEGER	—	ターゲットを搭載しているエンクロージャの ID を提供します。

表 1-59 SCSI\_TARGET (続き)

列名	データ型	制約	説明
DEV_TYPE	INTEGER	—	SCSI ターゲットのデバイス タイプです。 0 = ディスク 1 = 順次 2 = プリンタ 3 = プロセッサ 4 = WORM 5 = CDROM 6 = スキャナ 7 = 光学 8 = チェンジャ 9 = SCSI ネットワーク 10 = SCSI ASCIT8 11 = SCSI ASCIT8 12 = SCSI アレイ 13 = SCSI エンクロージャ 14 = SCSI RBC
VENDOR_ID	VARCHAR2(256)	—	SCSI ターゲットのベンダー ID を提供します。
PRODUCT_ID	VARCHAR2(256)	—	SCSI ターゲットの製品 ID を提供します。
REV_LEVEL	VARCHAR2(256)	—	SCSI ターゲットの製品リビジョン レベルを提供します。
OTHER_INFO	RAW(100)	—	INQUIRY コマンド応答データのバイト 0 ~ 7 です。
IS_PRESENT	NUMBER(1)	—	SCSI ターゲットが存在するかどうかについて説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
STATUS	INTEGER	—	非推奨。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## SEQUENCE

このテーブルでは自動的に生成される ID の現在の長さの値について説明します。表 1-60 で、SEQUENCE データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-60 SEQUENCE

列名	データ型	制約	説明
ID	SMALLINT	NOT NULL PRIMARY KEY	ID のカタログを提供します。
VALUE	INTEGER	—	データベースの ID の開始値について説明します。

## SME\_SETTINGS

このテーブルでは SME 設定情報について説明します。表 1-61 で、SME\_SETTINGS データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-61 SME\_SETTINGS

列名	データ型	制約	説明
NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	SME 名を提供します。
VALUE	VARCHAR2(64)	—	SME 設定値について説明します。

## SME\_CLUSTER

このテーブルでは SME クラスタ情報について説明します。表 1-62 で、SME\_CLUSTER データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-62 SME\_CLUSTER

列名	データ型	制約	説明
CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	クラスタ名を提供します。
CLUSTER_ID	VARCHAR2(64)	—	クラスタの ID を提供します。
STATUS	INTEGER	—	SME クラスタのステータスを提供します。
CKMC_STATE	INTEGER	—	KMC サーバの状態を提供します。
MASTER_IP_ADDR	VARCHAR2(32)	—	マスター スイッチの IP アドレスについて説明します。
KMC_ID	VARCHAR2(32)	—	KMC の ID を提供します。

## SME\_CLUSTER\_ATTRIBUTES

このテーブルでは SME クラスタ属性情報について説明します。表 1-63 で、SME\_CLUSTER\_ATTRIBUTES データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-63 SME\_CLUSTER\_ATTRIBUTES

列名	データ型	制約	説明
CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	クラスタ名を提供します。
SECURITY_MODE	INTEGER	—	クラスタのセキュリティ モードについて説明します。

表 1-63 SME\_CLUSTER\_ATTRIBUTES (続き)

列名	データ型	制約	説明
RECOVERY_THRE SHOLD	INTEGER	—	クラスタのリカバリしきい値について説明します。
RECOVERY_TOTA L	INTEGER	—	クラスタのリカバリ合計について説明します。

## SME\_CLUSTER\_SMARTCARD

このテーブルでは SME クラスタ SmartCard 情報について説明します。表 1-64 で、SME\_CLUSTER\_SMARTCARD データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-64 SME\_CLUSTER\_SMARTCARD

列名	データ型	制約	説明
3049CLUSTER_NA ME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	クラスタ名を提供します。
MASTER_KEY_G UID	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	GUID 用マスター キーについて説明します。
MASTER_KEY_VE RSION	VARCHAR2(8)	NOT NULL PRIMARY KEY	マスター キーのバージョンについて説明します。
RECOVERY_SHA RE_VERSION	VARCHAR2(8)	NOT NULL PRIMARY KEY	リカバリ共有バージョンについて説明します。
SHARE_INDEX	INTEGER	—	共有インデックスについて説明します。
SMARTCARD_LA ABEL	VARCHAR2(32)	—	SmartCard ラベルについて説明します。
SMARTCARD_SE RIAL_NUMBER	VARCHAR2(32)	—	SmartCard のシリアル番号について説明します。
RO_USERNAME	VARCHAR2(32)	—	ロールのユーザ名について説明します。

## SME\_TAPE\_GROUP

このテーブルでは SME テープ グループ情報について説明します。表 1-65 で、SME\_TAPE\_GROUP データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-65 SME\_TAPE\_GROUP

列名	データ型	制約	説明
3049CLUSTER_NA ME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	クラスタ名について説明します。
TAPEGROUP_NA ME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	テープ グループ名について説明します。

表 1-65 SME\_TAPE\_GROUP (続き)

列名	データ型	制約	説明
VOLUME_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	ボリューム グループ名について説明します。
STATUS	INTEGER	—	テープのステータスについて説明します。

## SME\_TAPE\_VOLUMEGROUP

このテーブルでは SME テープ ボリューム グループ情報について説明します。表 1-66 で、SME\_TAPE\_VOLUMEGROUP データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-66 SME\_TAPE\_VOLUMEGROUP

列名	データ型	制約	説明
3049CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	クラスタ名について説明します。
TAPEGROUP_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	テープ グループ名について説明します。
VOLUME_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	ボリューム グループ名について説明します。
STATUS	INTEGER	—	テープのステータスについて説明します。

## SME\_KEY

このテーブルでは SME キー情報について説明します。表 1-67 で、SME\_KEY データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-67 SME\_KEY

列名	データ型	制約	説明
GUID	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	キーのグローバル固有 ID を提供します。
3049CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	クラスタ名を提供します。
CLONED_FROM_GUID <sup>1</sup>	VARCHAR2(64)	—	これがクローンであるかどうかについて説明します。
CLUSTER_ID	VARCHAR2(64)	—	クラスタの ID です。
STATUS	INTEGER	—	キーのステータスについて説明します。
KEY_TYPE	INTEGER	—	SME のキーの種類について説明します。
ENTITY_INDEX <sup>2</sup>	VARCHAR2(256)	—	エンティティ インデックスについて説明します。

表 1-67 SME\_KEY (続き)

列名	データ型	制約	説明
VERSION	INTEGER	—	SME のバージョンを提供します。
WRAP_BY_GUID	VARCHAR2(64)	—	GUID によってラップされた値について説明します。
KEY_DAT	VARCHAR2(2048)	—	キーのデータについて説明します。
MASTER_KEY_GUID	VARCHAR2(64)	—	マスター キーの GUID について説明します。
CREATION_TIME	TIMESTAMP	—	SME 作成時刻を提供します。
ARCHIVAL_TIME	TIMESTAMP	—	SME アーカイブ時刻を提供します。

1. SME\_KEY\_CLONED\_FROM\_GUID\_INDEX は CLONED\_FROM\_GUID 列に基づくインデックスです。
2. SME\_KEY\_ENTITY\_INDEX は ENTITY\_INDEX 列に基づくインデックスです。

## SME\_ACCOUNTING\_LOG

このテーブルでは SME アカウンティング ログ情報について説明します。表 1-68 で、SME\_ACCOUNTING\_LOG データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-68 SME\_ACCOUNTING\_LOG

列名	データ型	制約	説明
LOG_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	SME ログの ID を提供します。
TIME_STAMP	TIMESTAMP	NOT NULL	タイムスタンプについて説明します。
HOST_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL	ホストの名前について説明します。
USER_NAME	VARCHAR2(64)	—	セキュリティ用に暗号化されたユーザ名です。
3049CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	—	クラスタ名について説明します。
CLUSTER_ID	VARCHAR2(64)	—	クラスタの ID です。
OPERATION	VARCHAR2(64)	—	実行される動作について説明します。
STATUS	VARCHAR2(64)	—	ステータスについて説明します。
DETAILS	VARCHAR2(1024)	—	詳細について説明します。

## SME\_REPLICATION\_REL

このテーブルでは SME 複製リリースについて説明します。表 1-69 で、SME\_REPLICATION\_REL データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-69 SME\_REPLICATION\_REL

列名	データ型	制約	説明
SRC_CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	SME クラスタ名について説明します。
SRC_TAPE_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	SME テープ グループ名について説明します。
SRC_VOLUME_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	SME ボリューム グループ名について説明します。
REPLICATION_ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	複製 ID について説明します。
STATUS	INTEGER	—	SME のステータスについて説明します。
CREATION_TIME	TIMESTAMP	—	作成時刻について説明します。
DEST_CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	—	宛先クラスタ名を提供します。
DEST_TAPE_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	—	宛先グループ名を提供します。
DEST_VOLUME_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	—	宛先ボリューム グループ名を提供します。
STATUS_DESC	VARCHAR2(255)	—	ステータスの説明を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻です。

## SME\_REPL\_PENDING\_KEY

このテーブルでは SME 複製キー情報について説明します。表 1-70 で、SME\_REPL\_PENDING\_KEY データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-70 SME\_REPL\_PENDING\_KEY

列名	データ型	制約	説明
GUID	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	グローバルに固有の ID について説明します。
SRC_CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	SRC クラスタ名について説明します。
DEST_CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	PRIMARY KEY	宛先クラスタ名について説明します。
DEST_TAPE_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	PRIMARY KEY	宛先テープ グループ名について説明します。

表 1-70 SME\_REPL\_PENDING\_KEY (続き)

列名	データ型	制約	説明
DEST_TAPE_VOLUME_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	PRIMARY KEY	宛先テープ ボリューム グループ名について説明します。
SRC_TAPE_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	—	テープ グループ名について説明します。
SRC_TAPE_VOLUME_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	—	SRC 宛先テープ ボリューム グループ名について説明します。
SCHEDULED_REPLICATION_TIME	TIMESTAMP	—	スケジュールされた複製時刻について説明します。

## SME\_REPL\_ERROR\_KEY

このテーブルでは SME 複製情報について説明します。表 1-71 で、SME\_REPL\_ERROR\_KEY データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-71 SME\_REPL\_ERROR\_KEY

列名	データ型	制約	説明
GUID	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	グローバルに固有の ID について説明します。
SRC_CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	宛先クラスタ名について説明します。
DEST_CLUSTER_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	宛先クラスタ名について説明します。
DEST_TAPE_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	宛先テープ グループ名について説明します。
DEST_VOLUME_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	NOT NULL PRIMARY KEY	宛先テープ ボリューム グループ名について説明します。
SRC_TAPE_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	—	テープ グループ名について説明します。
SRC_TAPE_VOLUME_GROUP_NAME	VARCHAR2(64)	—	SRC 宛先テープ ボリューム グループ名について説明します。
STATUS	INTEGER	—	ステータスについて説明します。
REPLICATION_TIME	INTEGER	—	複製時刻を提供します。
STATUS_DESC	VARCHAR2(255)	—	ステータスの説明を提供します。



## SNMP\_COMMUNITY

このテーブルでは SNMP コミュニティについて説明します。表 1-72 で、SNMP\_COMMUNITY データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-72 SNMP\_COMMUNITY

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	SNMP コミュニティの ID を提供します。
IP_ADDRESS	VARCHAR2(256)	NOT NULL	コミュニティ スtring の IP アドレスを提供します。
READ	VARCHAR2(256)	—	read コミュニティ スtring について説明します。
WRITE	VARCHAR2(256)	—	write コミュニティ スtring について説明します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## SNMPUSER

このテーブルでは SNMP ユーザについて説明します。表 1-73 で、SNMPUSER データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-73 SNMPUSER

列名	データ型	制約	説明
ID	INTEGER	NOT NULL PRIMARY KEY	SNMP ユーザの ID を提供します。
VERSION	3506Integer	—	SNMP ユーザのバージョンです。 1 = SNMPv1 2 = SNMPv2 3 = SNMPv3
USER_NAME <sup>1</sup>	VARCHAR2(256)	—	SNMPv3 の場合は、SNMP ユーザの名前です。 SNMPv1 または SNMPv2 の場合は、コミュニティ スtring です。
AUTH_PASSWORD	VARCHAR2(256)	—	SNMP ユーザのパスワードです。SNMPv3 だけに適用されます。
PRIV_PASSWORD	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
AUTH_PROTOCOL	3506Integer	—	非推奨。
PRIV_PROTOCOL	3506Integer	—	非推奨。
SECURITY_NAME	VARCHAR2(256)	—	SNMP ユーザのセキュリティ名です。

表 1-73 SNMPUSER (続き)

列名	データ型	制約	説明
ROLE_NAME	VARCHAR2(256)	—	SNMP ユーザのロールについて説明します。
IS_LOGGING_IN	NUMBER(1)	—	非推奨。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻です。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. SNMPUSER\_USERNAME\_INDEX は USER\_NAME 列に基づくインデックスです。

## SPAN\_PORT

このテーブルではスイッチの SPAN ポートについて説明します。SWITCH\_ID を使用してこの SPAN ポートを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。表 1-74 で、SPAN\_PORT データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-74 SPAN\_PORT

列名	データ型	制約	説明
ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	エントリの ID について説明します。
IF_INDEX <sup>1</sup>	3506Integer	—	ポートの IF インデックス値について説明します。
SWITCH_ID <sup>2</sup>	3506Integer	—	親スイッチの ID について説明します。
LAST_SCAN_TIME	3506Integer	—	非推奨。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻について説明します。

1. SPANPORT IFINDEX INDEX は IF INDEX 列に基づくインデックスです。

2. SPANPORT\_SWITCH\_ID\_INDEX は SWITCH\_ID 列に基づくインデックスです。

## SPAN\_SESSION

このテーブルでは SPAN セッションについて説明します。SPAN\_PORT\_ID を使用してこのセッションを SPAN\_PORT テーブルの SPAN ポートに関連付けます。表 1-75 で、SPAN\_SESSION データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-75 SPAN\_SESSION

列名	データ型	制約	説明
ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	エントリの ID について説明します。
SESSION_ID <sup>1</sup>	3506Integer	—	セッションの ID について説明します。
SPAN_PORT_ID <sup>2</sup>	3506Integer	—	SPAN_PORT の外部キーについて説明します。

表 1-75 SPAN\_SESSION (続き)

列名	データ型	制約	説明
OPER_STATUS	3506Integer	—	動作ステータスです。 1 = アクティブ 2 = 非アクティブ
VSAN_FILTER	VARCHAR2(256)	—	VSAN フィルタのリストです (たとえば、「1,3,5」)。
VSAN_SOURCE	VARCHAR2(256)	—	VSAN 送信元のリストです (たとえば、「1,3,5」)。
LAST_SCAN_TIME	3506Integer	—	非推奨。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻について説明します。

1. SPANSESSION SESSION ID INDEX は SESSION ID 列に基づくインデックスです。
2. SPANSESSION\_SPANPORT\_ID\_INDEX は SPAN\_PORT\_ID 列に基づくインデックスです。

## SPAN\_SOURCE\_PORT

このテーブルでは SPAN ソース ポートについて説明します。SESSION\_ID を使用してこのソース ポートを SPAN\_SESSION テーブルの SPAN セッションに関連付けます。表 1-76 で、SPAN\_SOURCE\_PORT データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-76 SPAN\_SOURCE\_PORT

列名	データ型	制約	説明
ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	エントリの ID について説明します。
IF_INDEX <sup>1</sup>	3506Integer	—	ポートのインターフェイス インデックスについて説明します。
DIRECTION	3506Integer	—	方向です。 受信 = 1 送信 = 2
SESSION_ID <sup>2</sup>	3506Integer	—	セッション ID (SPAN_SESSION の外部キー) です。
LAST_SCAN_TIME	3506Integer	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻について説明します。

1. SPANSOURCEPORT IFINDEX INDEX は IF\_INDEX 列に基づくインデックスです。
2. SPANSOURCEPORT\_SESSION\_ID\_INDEX は SESSION\_ID 列に基づくインデックスです。

## STATISTICS

このテーブルではパフォーマンス マネジャー収集に収集された統計を提供します。表 1-77 で、STATISTICS データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-77 STATISTICS

列名	データ型	制約	説明
SRC_ID	3506Integer	PRIMARY KEY	SWITCH_PORT テーブルまたは END_PORT テーブルの送信元ポート エントリの ID について説明します。
DEST_ID <sup>1</sup>	3506Integer	PRIMARY KEY	SWITCH_PORT テーブルまたは END_PORT テーブルの宛先ポートエントリの ID について説明します。
TYPE	SMALLINT	—	統計情報の種類です。 0 = 不明 1 = ISL 2 = フロー 3 = 発信側 4 = ターゲット 5 = その他 6 = ギガビット イーサネット
RRD_FILE	VARCHAR2(256)	—	エンティティの RRD ファイル名について説明します。
XML_FILE	VARCHAR2(256)	—	エンティティの XML ファイル名について説明します。
CAPACITY	3506Integer	—	エンティティのインターフェイス速度 (1 秒あたりのバイト数) です。
AVG_RX	BINARY_DOUBLE	—	前日に受信した 1 秒あたりの平均バイト数について説明します。
AVG_TX	BINARY_DOUBLE	—	前日に送信した 1 秒あたりの平均バイト数について説明します。
TOTAL_RXTX	BINARY_DOUBLE	—	前日に送受信した合計バイト数について説明します。
MAX_RX	BINARY_DOUBLE	—	前日に受信したピーク バイト数について説明します。
MAX_TX	BINARY_DOUBLE	—	前日に送信したピーク バイト数です。
TOTAL_ERR	BINARY_DOUBLE	—	前日の合計エラー数について説明します。
TOTAL_DISCARD	BINARY_DOUBLE	—	前日の合計廃棄数について説明します。
LAST_WEEK_AVG_RX	BINARY_DOUBLE	—	前の週に受信した 1 秒あたりの平均バイト数です。
LAST_WEEK_AVG_TX	BINARY_DOUBLE	—	前の週に送信した 1 秒あたりの平均バイト数です。
LAST_WEEK_TOTAL_RXTX	BINARY_DOUBLE	—	前の週に送受信した合計バイト数について説明します。

表 1-77 STATISTICS (続き)

列名	データ型	制約	説明
LAST_WEEK_MAX_RX	BINARY_DOUBLE	—	前の週に受信したピーク バイト数です。
LAST_WEEK_MAX_TX	BINARY_DOUBLE	—	前の週に送信したピーク バイト数です。
LAST_WEEK_TOTAL_ERR	BINARY_DOUBLE	—	前の週の合計エラー数について説明します。
LAST_WEEK_TOTAL_DISCARD	BINARY_DOUBLE	—	前の週の合計廃棄数について説明します。
LAST_MONTH_AVG_RX	BINARY_DOUBLE	—	前月に受信した 1 秒あたりの平均バイト数です。
LAST_MONTH_AVG_TX	BINARY_DOUBLE	—	前月に送信した 1 秒あたりの平均バイト数です。
LAST_MONTH_TOTAL_RXTX	BINARY_DOUBLE	—	前月に送受信した合計バイト数です。
LAST_MONTH_MAX_RX	BINARY_DOUBLE	—	前月に受信したピーク バイト数です。
LAST_MONTH_MAX_TX	BINARY_DOUBLE	—	前月に送信したピーク バイト数です。
LAST_MONTH_TOTAL_ERR	BINARY_DOUBLE	—	前月の合計エラー数です。
LAST_MONTH_TOTAL_DISCARD	BINARY_DOUBLE	—	前月の合計廃棄数です。
LAST_YEAR_AVG_RX	BINARY_DOUBLE	—	前年に受信した 1 秒あたりの平均バイト数です。
LAST_YEAR_AVG_TX	BINARY_DOUBLE	—	前年に送信した 1 秒あたりの平均バイト数です。
LAST_YEAR_TOTAL_RXTX	BINARY_DOUBLE	—	前年に送受信した合計バイト数です。
LAST_YEAR_MAX_RX	BINARY_DOUBLE	—	前年に受信したピーク バイト数です。
LAST_YEAR_MAX_TX	BINARY_DOUBLE	—	前年に送信したピーク バイト数です。
LAST_YEAR_TOTAL_ERR	BINARY_DOUBLE	—	前年の合計エラー数です。
LAST_YEAR_TOTAL_DISCARD	BINARY_DOUBLE	—	前年の合計廃棄数です。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻です。
LAST_THRESHOLD_EVENT_TIME	TIMESTAMP	—	最後にしきい値イベントを受信した時刻です。
THRESHOLD_EVENT_COUNT	SMALLINT	—	しきい値イベント カウントです。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. STATISTICS\_DEST\_ID は DEST\_ID 列に基づくインデックスです。

## SWITCH

このテーブルではスイッチに sWWN とファブリック ID を提供します。FABRIC\_ID を使用して各スイッチを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。表 1-78 で、SWITCH データベーススキーマ テーブルについて説明します。

表 1-78 SWITCH

列名	データ型	制約	説明
ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	スイッチ テーブル内のスイッチ エントリの ID を提供します。
FABRIC_ID <sup>1</sup>	3506Integer	—	ファブリック テーブル内の親ファブリック エントリの ID を提供します。
LICENSE_ID	3506Integer	—	非推奨。
WWN <sup>2</sup>	RAW(8)	—	スイッチの WWN を提供します。
IP_ADDRESS <sup>3</sup>	RAW(100)	—	スイッチの IP アドレスを提供します。
IS_MDS	NUMBER(1)	—	スイッチが MDS スイッチかどうかを示します。
TYPE	3506Integer	—	スイッチのモデル タイプです。MDS スイッチだけに適用されます。表 1-79 を参照してください。
IS_MANAGABLE	NUMBER(1)	—	スイッチが管理可能かどうかを示します。
UNMANAGABLE_CAUSE	VARCHAR2(256)	—	スイッチが管理不能の理由について説明します。
NON_MDS_MODEL	VARCHAR2(256)	—	MDS 以外のスイッチのモデル名です。
SYS_NAME	VARCHAR2(256)	—	システム名を提供します。
SYS_CONTACT	VARCHAR2(256)	—	システムの連絡先情報を提供します。
SYS_LOCATION	VARCHAR2(256)	—	システムの位置情報を提供します。
SYS_UPTIME	3506Integer	—	システムの稼働時間 (1/100 秒) を提供します。0 はシステムがダウンしていることを示します。
ACTIVE_SUP_SLOT	3506Integer	—	アクティブ スーパーバイザのスロット番号を提供します。

表 1-78 SWITCH (続き)

列名	データ型	制約	説明
STANDBY_SUP_STATE	3506Integer	—	スタンバイ スーパーバイザのステータスです。 1 = 不明 2 = ディセーブル 3 = 初期化 4 = ネゴシエーション 5 = スタンバイ コールド 6 = スタンバイ コールド設定 7 = スタンバイ コールド ファイル システム 8 = スタンバイ コールド バルク 9 = スタンバイ ホット 10 = アクティブ 高速 11 = アクティブ ドレイン 12 = アクティブ 事前設定 13 = アクティブ 事後設定 14 = アクティブ 15 = アクティブ 過剰負荷 16 = アクティブ ハンドバック
CONN_UNIT_STATUS	3506Integer	—	接続ユニット ステータスです。 0 = 不明 1 = 未使用 2 = 良好 3 = 警告 (要注意) 4 = 故障
FEATURE_FLAG	3506Integer	—	ライセンス対象機能です。詳細については、 CISCO-FEATURE-CONTROL-MIB を参照してください。
FEATURES_STRING	VARCHAR2(256)	—	機能のフラグ値 (ストリング形式) について説明します。
IS_LICENSE_VIOLATION	NUMBER(1)	—	スイッチがライセンスに違反しているかどうかを示します。
VERSION	VARCHAR2(256)	—	スイッチのバージョンです。
IS_PRESENT	NUMBER(1)	—	スイッチが存在するかどうかを示します。
SERIAL_NUMBER	VARCHAR2(256)	—	スイッチのシリアル番号です。
NUM_PORTS	3506Integer	—	スイッチのファイバチャネル ポート数です。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻です。
LAST_SCAN_TIME	3506Integer	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) です。
IS_TRAP_REGISTERED	NUMBER(1)	—	トラップ受信者がスイッチに登録されているかどうかを示します。
IS_SYSLOG_REGISTERED	NUMBER(1)	—	syslog 受信者がスイッチに登録されているかどうかを示します。
SYS_DESCRIPTION	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

表 1-78 SWITCH (続き)

列名	データ型	制約	説明
VENDOR	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
FCFE_MODULE_ID	3506Integer	—	非推奨。
STANDBY_SUP_SLOT	3506Integer	—	スタンバイ スーパーバイザ カードのスロット番号です。
MODULE_INDEX_OFFSET	3506Integer	—	モジュール インデックス オフセットです。
OPER_MODE	3506Integer	—	動作モードについて説明します。
CPU_USAGE	3506Integer	—	スイッチ スーパーバイザの CPU 使用率を提供します。
MEM_USAGE	3506Integer	—	スイッチ スーパーバイザのメモリ使用率を提供します。
IS_VDC	NUMBER(1)	—	これが VDC である場合の情報を提供します。
VDC_ID	3506Integer	—	VDC ID を提供します。
VDC_MAC	RAW(6)	—	VDC の MAC アドレスを提供します。
VDC_NAME	VARCHAR2(255)	—	VDC 名を提供します。
FCOE_CAPABLE	NUMBER(1)	—	スイッチが FCoE に対応しているかどうかについて説明します。
RESERVE_COL1	VARCHAR	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR	—	非推奨。

1. SWITCH FABRIC ID は FABRIC ID 列に基づくインデックスです。
2. SWITCH WWN INDEX は WWN 列に基づくインデックスです。
3. SWITCH\_IP\_INDEX は IP\_ADDRESS 列に基づくインデックスです。

表 1-79 SWITCH テーブルの TYPE フィールドの説明

TYPE フィールドの値	説明
375	Cisco MDS 9506 シャーシ
376	Cisco MDS 9509 シャーシ
377	Cisco MDS 9513 シャーシ
380	Cisco MDS 9216 シャーシ
411	Cisco MDS 9140、40 ポート固定構成ファブリック スイッチ シャーシ
414	Cisco MDS 9120、20 ポート固定構成ファブリック スイッチ シャーシ
442	Cisco MDS 9216A シャーシ
472	Cisco 2 スロット MDS ファブリック スイッチ シャーシ
475	Cisco SN 5428
514	Cisco MDS 9020-20K9、20 ポート 4Gbps FC ファブリック スイッチ
529	Cisco SN 5428-2
587	Cisco MDS 9124
601	Cisco IBM_BLADE_SERVER



表 1-79 SWITCH テーブルの TYPE フィールドの説明 (続き)

TYPE フィールドの値	説明
606	Cisco HP_BLADE_SERVER
612	Nexus 7010 スイッチ、10 スロット
616	Cisco MDS 9134 マルチレイヤ ファブリック スイッチ
651	MDS 9222i マルチサービス モジュラ スイッチ
719	Nexus 5000 シリーズ (Eugene) シャーシ
773	NEC_BLADE_SERVER
777	Nexus 7018 スイッチ、18 スロット
798	Nexus 5000 シリーズ (Bend) シャーシ
841	MDS HUASHAN 9148 FC (1 スロット) シャーシ 1/2/4/8 Gbps FC/スーパーバイザ -2
843	HP Blade System Cassino
847	UCS Springfield シャーシ 20 ポート
899	UCS Springfield シャーシ 40 ポート
934	Nexus 5000 シリーズ (Bend) シャーシ デュアル コア
935	Nexus 5000 シリーズ (Eugene) シャーシ デュアル コア
936	Nexus 5000 シリーズ (Eugene) 10G Base-T (Sherwood)
1008	Nexus 5000 シリーズ (Oxygen)

## SWITCH\_MGMT\_ADDRESS

このテーブルではスイッチ管理ポート IP アドレスを提供します。SWITCH\_ID を使用して各エントリをスイッチ テーブルのスイッチに関連付けます。表 1-80 で、SWITCH\_MGMT\_ADDRESS データベース テーブルについて説明します。

表 1-80 SWITCH\_MGMT\_ADDRESS

列名	データ型	制約	説明
SWITCH_ID <sup>1</sup>	3506Integer	NOT NULL	スイッチの ID を提供します。
MGMT_ADDRESS	RAW(100)	—	管理 IP アドレスを提供します。
MGMT_TYPE	NUMBER(4)	—	非推奨。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

1. SWITCH\_MGMT\_ADDRESS\_ID\_INDEX は SWITCH\_ID 列に基づくインデックスです。

## SWITCH\_PORT

このテーブルでは SNMP ifIndex と pWWN をポートに関連付けます。SWITCH\_ID を使用して各エントリーを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。表 1-81 で、SWITCH\_PORT データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-81 SWITCH\_PORT

列名	データ型	制約	説明
ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	データベース エントリーのプライマリ キーを提供します。
IF_INDEX	3506Integer	—	ポートのインターフェイス インデックスです。
SWITCH_ID <sup>1</sup>	3506Integer	—	親スイッチの ID を提供します。
WWN	RAW(8)	—	ポートの WWN です。
FICON_PORT_ADDRESS	RAW(100)	—	FICON アドレスです。
IS_HUB	NUMBER(1)	—	ポートがハブかどうかを示します。
IS_CHANNEL	NUMBER(1)	—	ポートが PortChannel に属しているかどうかを示します。
CHANNEL_ID <sup>2</sup>	3506Integer	—	PortChannel ID です。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリーが更新された時刻です。
STATUS	SMALLINT	—	ポートのステータスです。詳細については、CISCO-FC-FE-MIB を参照してください。
IS_SPAN	NUMBER(1)	—	非推奨。
PORT_GROUP	3506Integer	—	ポート インデックスから計算されるポート グループです。32 ポート カードだけに適用されます。
SLOT	SMALLINT	—	スロット番号について説明します。
IF_SPEED	3506Integer	—	ポート速度 (ビット/秒) です。
IF_NAME	VARCHAR2(256)	—	ポート インターフェイスの名前です。
IF_TYPE	3506Integer	—	ポート インターフェイスの種類です。IANAifType の値については、IANAifType-MIB を参照してください。
PARENT	3506Integer	—	親です。
CLUSTER_ID	VARCHAR2(256)	—	クラスタ ID について説明します。
SME_STATE	3506Integer	—	SME の状態について説明します。
IOA_STATE	3506Integer	—	IOA の状態について説明します。
IF_CONNTYPE	3506Integer	—	インターフェイス接続の種類について説明します。
IF_DESCR	VARCHAR2(256)	—	インターフェイスの説明について説明します。
SLOT	SMALLINT	NULL	ポートが属するスロットを提供します。
IS_VFC	NUMBER(1)	—	これが vFC であるかどうかについて説明します。
VFC_BIND_TYPE	3506Integer	—	vFC バインドの種類について説明します。

表 1-81 SWITCH\_PORT (続き)

列名	データ型	制約	説明
VFC_BIND_IFINDEX	3506Integer	—	vFC がバインドするインターフェイス インデックスについて説明します。
VFC_BIND_MAC	RAW(6)	—	vFC がバインドする MAC アドレスを提供します。
DISPLAY_NAME	VARCHAR2(256)	NULL	このオブジェクトの表示名を提供します。
IS_PHYSICAL	NUMBER(1)	—	これが物理インターフェイスであるかどうかについて説明します。
IF_OPERSTATUS	3506Integer	—	インターフェイスの動作ステータスについて説明します。
RESERVE_COL1	VARCHAR	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR	—	非推奨。

1. SWITCH\_PORT SWITCH ID INDEX は SWITCH ID 列に基づくインデックスです。
2. SWITCH\_PORT\_CHANNEL\_ID\_INDEX は CHANNEL\_ID 列に基づくインデックスです。

## SVR\_PROP

このテーブルではサーバプロパティについて説明します。表 1-82 で、SVR\_PROP データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-82 SVR\_PROP

列名	データ型	制約	説明
KEY	VARCHAR2(256)	PRIMARY KEY	サーバプロパティについて説明します。
VALUE	VARCHAR2(256)	—	サーバプロパティ値について説明します。

## VCENTER

このテーブルでは仮想センターについて説明します。表 1-83 で、VCENTER データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-83 VCENTER ネットワーク管理テーブル

列名	データ型	制約	説明
ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	仮想ホストの ID を提供します。
IP_ADDRESS	RAW(100)	—	仮想ホストの IP アドレスを提供します。
USER_NAME	VARCHAR2(256)	—	セキュリティ用に暗号化されたユーザ名を提供します。
PASSWORD	VARCHAR2(256)	—	セキュリティ用の暗号化されたパスワードを提供します。

表 1-83 VCENTER ネットワーク管理テーブル (続き)

列名	データ型	制約	説明
DISCOVERY	NUMBER(1)	—	ディスカバリが進行中のプロシージャかどうかについて説明します。
STATE	NUMBER(1)	—	ディスカバリ ステータスについて説明します。
STATUS_DESCRIPTION	VARCHAR2(256)	—	ハードウェア コンポーネントのステータス説明を提供します。
LAST_SCAN_TIME	3506Integer	—	最後に確認された 1/1/1970 以降の時間 (ミリ秒) を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## USERFABRIC

このテーブルではファブリックのユーザについて説明します。表 1-84 で、USERFABRIC\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-84 USERFABRIC Cisco DCNM for SAN データベース スキーマ テーブル

列名	データ型	制約	説明
FMUSER_NAME	VARCHAR2(256)	NOT NULL PRIMARY KEY	Cisco DCNM for SAN ユーザの名前を提供します。
FABRIC_ID <sup>1</sup>	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	ファブリックの ID を提供します。
SNMPUSER_ID	3506Integer	—	SNMP ユーザの ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻です。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

## USERSWITCH\_INFO

このテーブルではユーザ スイッチ情報について説明します。表 1-85 で、USERSWITCH\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-85 USERSWITCH\_INFO

列名	データ型	制約	説明
FMUSER_ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	Cisco DCNM for SAN ユーザの ID について説明します。
IP_ADDRESS	RAW(100)	NOT NULL PRIMARY KEY	スイッチの IP アドレスについて説明します。
SNMPUSER_ID	3506Integer		SNMP ユーザの ID について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP		エントリが更新された時刻です。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)		非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)		非推奨。

## VSAN

このテーブルではファブリック内の VSAN について説明します。FABRIC\_ID を使用してこの VSAN を FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。表 1-86 で、VSAN データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-86 VSAN

列名	データ型	制約	説明
ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID を提供します。
NAME	VARCHAR2(256)	—	VSAN 名を提供します。
IS_UP	NUMBER(1)	—	VSAN が動作しているかどうかを示します。
IS_DISJOINT	NUMBER(1)	—	VSAN がセグメント化されているかどうかを示します。
SEED_SWITCH_ID	3506Integer	—	シードスイッチの ID を提供します。
ENF_ZONESET_NAME	VARCHAR2(256)	—	アクティブゾーンセットの名前です。
ENF_ZONESET_ACTIVATE_TIME	3506Integer	—	ゾーンセットがアクティブになっている時間 (ミリ秒) を提供します。
FABRIC_ID <sup>1</sup>	3506Integer	—	親ファブリック ID を提供します。
VSAN_ID <sup>1,2</sup>	3506Integer	—	VSAN ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
PRINCIPAL_SWWN	RAW(100)	—	主要スイッチの WWN です。

表 1-86 VSAN (続き)

列名	データ型	制約	説明
FICON_STATE	3506Integer	—	FICON の状態です。 0 = FICON 以外 1 = オフライン 2 = オンライン
INTER_OPER_MODE	3506Integer	—	VSAN の相互運用モードです。 0 = ディセーブル 1 ~ 4 = イネーブル
PRINCIPAL_SW_ID	3506Integer	—	主要スイッチの ID を提供します。
ADMIN_STATE	NUMBER(4)	—	VSAN の管理状態です。 1 = アクティブ 2 = 中断中
MTU	3506Integer	—	VSAN の MTU を提供します。
LOAD_BALANCING_TYPE	NUMBER(4)	—	VSAN で使用されるロード バランシングの種類 です。 1 = 送信元および宛先 ID のみ 2 = 送信元、宛先、および発信元の交換 ID
INORDER_DELIVERY	NUMBER(1)	—	正しい順序の配信が保証されるかどうかを示し ます。
NETWORK_DROP_LATENCY	3506Integer	—	ネットワーク ドロップ遅延時間 (ミリ秒) を提 供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2( 256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2( 256)	—	非推奨。

1. VSAN FABRIC VSAN ID INDEX は FABRIC ID 列および VSAN ID 列に基づくインデックスです。
2. VSAN\_VSAN\_ID\_INDEX は VSAN\_ID 列に基づくインデックスです。

## VSAN\_DOMAIN\_INFO

このテーブルでは VSAN をスイッチ上のドメインに関連付けます。SWITCH\_ID を使用して VSAN とドメインを SWITCH テーブルのスイッチに関連付けます。表 1-87 で、VSAN\_DOMAIN\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-87 VSAN\_DOMAIN\_INFO

列名	データ型	制約	説明
VSAN_ID <sup>1</sup>	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	VSAN の ID を提供します。
SWITCH_ID <sup>2</sup>	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	スイッチの ID を提供します。
DOMAIN_ID	SMALLINT	—	VSAN 内のスイッチのドメインを提供します。
WWN	RAW(100)	—	VSAN 内のスイッチの WWN を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を示します。

表 1-87 VSAN\_DOMAIN\_INFO (続き)

列名	データ型	制約	説明
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. VSAN DOMAIN VSAN ID は VSAN ID 列に基づくインデックスです。
2. VSAN\_DOMAIN\_SWITCH\_ID は SWITCH\_ID 列に基づくインデックスです。

## VSAN\_ENDPOINT\_INFO

このテーブルでは VSAN のエンドポートに FCID を提供します。VSAN\_ID を使用してこのエンドポートを VSAN テーブルの VSAN に関連付けます。表 1-88 で、VSAN\_ENDPOINT\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-88 VSAN\_ENDPOINT\_INFO

列名	データ型	制約	説明
VSAN_ID <sup>1</sup>	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	VSAN の ID を提供します。
ENDPOINT_ID <sup>2</sup>	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	エンドポートの ID を提供します。
FCID	3506Integer	—	VSAN 内のエンドポートの FC ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. VSAN ENDPOINT VSAN ID は VSAN ID 列に基づくインデックスです。
2. VSAN\_ENDPOINT\_ENDPOINT\_ID は ENDPOINT\_ID 列に基づくインデックスです。

## VSAN\_ISL\_INFO

このテーブルでは VSAN の ISL にステータスを提供します。VSAN\_ID を使用してこの ISL を VSAN テーブルの VSAN に関連付けます。表 1-89 で、VSAN\_ISL\_INFO データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-89 VSAN\_ISL\_INFO

列名	データ型	制約	説明
VSAN_ID <sup>1</sup>	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	VSAN の ID を提供します。
ISL_ID <sup>2</sup>	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	ISL の ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。

表 1-89 VSAN\_ISL\_INFO (続き)

列名	データ型	制約	説明
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. VSAN\_ISL VSAN ID は VSAN ID 列に基づくインデックスです。
2. VSAN\_ISL\_ISL\_ID は ISL\_ID 列に基づくインデックスです。

## XMLDOCS

このテーブルでは XML ドキュメント情報について説明します。表 1-90 で、XMLDOCS データベーススキーマ テーブルについて説明します。

表 1-90 XMLDOCS

列名	データ型	制約	説明
DOCUMENT_TABLE	VARCHAR2(256)	unique	ドキュメントの種類について説明します。
USER_NAME	VARCHAR2(256)	unique	ユーザ名について説明します。
CONTENT	CLOB	—	各 XML ドキュメントの内容について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を示します。

## VSAN\_NPVL\_INFO

このテーブルでは VSAN NPVL 情報について説明します。表 1-91 で、VSAN\_NPVL\_INFO データベーススキーマ テーブルについて説明します。

表 1-91 VSAN\_NPVL\_INFO

列名	データ型	制約	説明
VSAN_ID <sup>1</sup>	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	VSAN の ID を提供します。
NPVL_ID <sup>2</sup>	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	NPVL の ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を示します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. VSAN NPVL VSAN ID は VSAN ID 列に基づくインデックスです。
2. VSAN\_NPVL\_NPVL\_ID は NPVL\_ID 列に基づくインデックスです。



## ZONE

このテーブルではゾーンについて説明します。IVR を使用してこのゾーンが IVR ゾーンであるかどうかを決定します。IVR ゾーンの場合は、PARENT\_ID を使用してこのゾーンを FABRIC テーブルのファブリックに関連付けます。IVR ゾーンではない場合は、PARENT\_ID を使用してこのゾーンを VSAN テーブルの VSAN に関連付けます。表 1-92 で、ZONE データベーススキーマテーブルについて説明します。

表 1-92 ZONE

列名	データ型	制約	説明
ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID を提供します。
PARENT_ID <sup>1</sup>	3506Integer	—	親の ID を提供します。親はファブリック (IVR ゾーン) または VSAN です。
IS_IVR <sup>2</sup>	NUMBER(1)	—	ゾーンが IVR ゾーンかどうかを示します。
ZONE_INDEX	3506Integer	—	ゾーンのインデックスについて説明します。
NAME	VARCHAR2(256)	—	ゾーン名について説明します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を示します。
READ_ONLY	NUMBER(1)	—	ゾーンを変更できるかどうかを示します。
QOS	NUMBER(1)	—	ゾーンが QoS をサポートしているかどうかを示します。
QOS_PRIORITY	3506Integer	—	LUN の優先度です。 1 = なし 2 = 低 3 = 中 4 = 高
BROADCAST	NUMBER(1)	—	ゾーンがブロードキャストをサポートしているかどうかを示します。
CFS_REGION_ID <sup>3</sup>	3506Integer	—	CFS の領域 ID を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR2(256)	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR2(256)	—	非推奨。

1. ZONE VSAN INDEX は PARENT ID 列に基づくインデックスです。
2. ZONE ISIVR INDEX は IS IVR 列に基づくインデックスです。
3. ZONE\_CFS\_INDEX は CFS\_REGION\_ID 列に基づくインデックスです。

## ZONE\_MEMBER

このテーブルではゾーンのメンバーについて説明します。ZONE\_ID を使用してこのメンバーを ZONE テーブルのゾーンに関連付けます。表 1-93 で、ZONE\_MEMBER データベース スキーマ テーブルについて説明します。

表 1-93 ZONE\_MEMBER

列名	データ型	制約	説明
ID	3506Integer	NOT NULL PRIMARY KEY	テーブル内のエントリの ID を提供します。
ZONE_ID <sup>1</sup>	3506Integer	—	親ゾーンの ID を提供します。
TYPE	3506Integer	—	メンバの種類です。 1 = ゾーン 2 = エイリアス
MEMBER_ID <sup>2</sup>	RAW(100)	—	ゾーン メンバの ID を提供します。
LUN_ID <sup>3</sup>	RAW(1000)	—	LUN の ID を提供します。
LAST_UPDATE_TIME	TIMESTAMP	—	エントリが更新された時刻を提供します。
IVR_VSAN_ID	3506Integer	—	IVR ゾーン メンバの VSAN ID を提供します。
PORT_STATUS	RAW(100)	—	非推奨。
AFID	3506Integer	—	IVR ゾーンメンバの AFID を提供します。
CFS_REGION_ID <sup>4</sup>	3506Integer	—	CFS の領域 ID を提供します。
RESERVE_COL1	VARCHAR	—	非推奨。
RESERVE_COL2	VARCHAR	—	非推奨。

1. ZONE\_MEMBER\_ZONEID\_INDEX は ZONE\_ID 列に基づくインデックスです。
2. ZONE\_MEMBER\_MEMBERID\_INDEX は MEMBER\_ID 列に基づくインデックスです。
3. ZONE\_MEMBER\_LUN\_ID\_INDEX は LUN\_ID 列に基づくインデックスです。
4. ZONE\_MEMBER\_CFS\_REGID\_INDEX は CFS\_REGION\_ID 列に基づくインデックスです。



# APPENDIX A

## サンプル Java プログラム

### 概要

この付録には、Java Database Connectivity (JDBC) を使用して SQL データベースに接続し、SQL 文を作成および実行してから、結果を取得する Java プログラムを作成するために必要なファイルが含まれています。表 A-1 に、サンプル ファイルを示します。

表 A-1 サンプル Java プログラム内のファイル

ファイル	説明
例 A-1 JTest.java	データベースに接続し、文を作成および実行してから、結果を取得するメイン プログラム。
例 A-2 ConnectionPoolManager.java	データベースに接続するための ConnectionPoolManager クラスの定義。
例 A-3 Switch.java	文を作成するための switch クラスの定義。
例 A-4 db.properties	データベースに固有の定義。これらの値は、使用する JDBC ドライバ、およびアクセスするデータベースの URL、ユーザ、およびパスワードを反映するように設定する必要があります。

Wikipedia と『JDBC API Guide』で JDBC の概要を参照するには、次のリンクにアクセスしてください。

- <http://en.wikipedia.org/wiki/JDBC>
- <http://download.oracle.com/javase/1.5.0/docs/guide/jdbc/>

JDBC API をインストールすると、文で使用するデータ型をインストール ディレクトリ ファイル constant-values.html で検索できます。

#### 例 A-1 JTest.java

```
import java.sql.*;
import java.io.*;
import java.util.*;

public class JTest {

    public static void main(String args[]) {

        Connection con;
```

```

Statement stmt;
SQLWarning warning = null;
boolean ret = false;
ResultSet results = null;
int updateCount = 0;
Properties prop = new Properties(); // contains contents of propertyFileName
String drivename = null;
String drivename2 = null;
String name;
String URL;
String user;
String password;

System.out.println("Java Test");

try {
    // Get the Connection Props.
    InputStream is = new BufferedInputStream(new FileInputStream(new File("db.properties")));
    prop.load(is);
    is.close();

    name = prop.getProperty("DS.name");
    URL = prop.getProperty("DS.url");
    user = prop.getProperty("DS.user");
    password = prop.getProperty("DS.password");
    drivename = prop.getProperty("DS.driver");
    drivename2 = prop.getProperty("DS.driver2");

    System.out.println(name);
    System.out.println(URL);
    System.out.println(drivename);

    // REGISTER DRIVER
    Driver d = (Driver)Class.forName(drivename).newInstance();

    if ( drivename2 != null) {
        Driver d2 = (Driver)Class.forName(drivename2).newInstance();
        System.out.println(drivename2);
    }

    // GET CONNECTION
    con = DriverManager.getConnection(URL,user,password);

    // GET CONNECTION WARNINGS
    try {
        warning = con.getWarnings();

        if (warning == null){
            System.out.println("No Warnings");
            //return;
        }

        while (warning != null) {
            System.out.println("Warning: "+warning);
            warning = warning.getNextWarning();
        }

    } catch (Exception e){
        System.out.println(e);
    }

    // CREATE STATEMENT
    stmt = con.createStatement();

```

```
// EXECUTE SQL
ret = stmt.execute("select * from EMP");
if (ret == true){
    results = stmt.getResultSet();
}
else{
    updateCount = stmt.getUpdateCount();
}

// GET ALL RESULTS
StringBuffer buf = new StringBuffer();
try {
    ResultSetMetaData rsmd = results.getMetaData();
    int numCols = rsmd.getColumnCount();
    int i, rowcount = 0;

    // get column header info
    for (i=1; i <= numCols; i++){
        if (i > 1) buf.append(",");
        buf.append(rsmd.getColumnLabel(i));
    }
    buf.append("\n");

    // break it off at 100 rows max
    while (results.next() && rowcount < 100){
        // Loop through each column, getting the column
        // data and displaying

        for (i=1; i <= numCols; i++) {
            if (i > 1) buf.append(",");
            buf.append(results.getString(i));
        }
        buf.append("\n");
        rowcount++;
    }
    results.close();
    System.out.println(buf);
} catch (Exception e) {
    System.out.println(e);
    return;
}
}
```

```
} catch (Exception e) {
    System.out.println(e);
}
```

```
}
```

```
}
```

```
/*
```

DISCLAIMER: The sample code is not supported under any DataDirect Technologies support program or service. The sample code is provided on an "AS IS" basis. DataDirect Technologies makes no warranties, express or implied, and disclaims all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability or of fitness for a particular purpose. The entire risk arising out of the use or performance of the sample code is borne by the user. In no event shall DataDirect Technologies, its employees, or anyone else involved in the creation, production, or delivery of the code be liable for any damages whatsoever (including, without limitation, damages for loss of business profits, business interruption, loss of business information, or other pecuniary loss) arising out of the use of or inability to use the sample code, even if DataDirect Technologies has been advised of the possibility of such damages.

```
*/
```

**例 A-2 ConnectionPoolManager.java**

```

public class ConnectionPoolManager {
    //specify which database schema will be used
    private final static String Alias = "dbname";
    //specify the database vendor library that implements JDBC api
    private final static String DbDriver = "org.hsqldb.jdbcDriver";
    //other attributes for connecting database
    private static String DbUrl = "jdbc:hsqldb:hsqldb://localhost";
    private static String DbUser = "db_username";
    private static String DbPass = "_db_password";
    private final static String[] DbFiles = {
        "dbname.data",
        "dbname.script",
        "dbname.backup",
        "dbname.properties",
        "dbname.log"
    };

    public static ConnectionPoolManager Instance;

    public static ConnectionPoolManager getInstance(){
    if(Instance == null){
        Class.forName(_DbDriver).newInstance();
        Instance= new ConnectionPoolManager(300);
        Instance.addAlias(Alias, DbDriver, DbUrl, DbUser, DbPass, 6, 300, 10, 10);
    }
    return Instance;
    }

    public Connection getConnection() throws SQLException {
        return DriverManager.getConnection("jdbc:bitmechanic:pool:"+ Alias, null, null);
    }

    public static void returnConnection(Connection conn) throws SQLException {
        conn.close();
    }
}

```

**例 A-3 Switch.java**

```

public final class Switch {
    final static String QuerySQLByFabricID =
        "select id, wwn, ip_address, is_mds, type, is_managable, non_mds_model, sys_name, sys_contact,
        sys_location, sys_uptime, active_sup_slot, conn_unit_status, standby_sup_state, feature_flag,
        is_license_violation, version, is_present, serial_number, unmanagable_cause, last_scan_time, num_ports,
        is_trap_registered, is_syslog_registered, standby_sup_slot, module_index_offset from switch where
        fabric_id=?";

    public static ArrayList loadFromDB(long fabricId)
        throws SQLException {
        Connection con = ConnectionPoolManager.getInstance().getConnection();
        PreparedStatement stat = con.prepareStatement(QuerySQLByFabricID);
        ResultSet rs = null;

        try {
            stat.setLong(1, fabricId);
            rs = stat.executeQuery();
            ArrayList al = new ArrayList();
            //parsing result set and put items to the list
            //....
            //....
        }
    }
}

```

```
        rs.close();
        return al;
    } catch (SQLException ex) {
        return null;
    }
    finally {
        if (rs != null) {
            rs.close();
        }
        ConnectionManager.getInstance().returnConnection(con);
    }
}
}
```

#### 例 A-4 db.properties

```
DS.driver=com.ddtek.jdbc.oracle.OracleDriver
DS.name=ddtek
DS.url=jdbc:datadirect:oracle://servername:1521;SID=ORASID
DS.user=uid
DS.password=pwd

//DS.driver=com.ddtek.jdbc.sequelink.SequeLinkDriver
//DS.name=ddtek
//DS.url=jdbc:sequelink://servername:19996
//DS.user=uid
//DS.password=pwd

//DS.driver=com.ddtek.jdbc.spy.SpyDriver
//DS.driver2=com.ddtek.jdbc.oracle.OracleDriver
//DS.name=ddtek
//DS.url=jdbc:spy:{jdbc:datadirect:oracle://servername:1521;SID=ORASID;user=uid;password=pwd};log=(file)C:\\temp\\spy.log
//DS.user=scott
//DS.password=tiger
```

